

中小企業調査 「大同生命サーベイ」

年間レポート

- 2019年4月～2020年2月 -



大同生命では、中小企業の景況感や経営課題の解決に向けたお取り組みなどに関するアンケート調査「大同生命サーベイ」を毎月実施し、調査結果を「月次レポート」としてお届けしています。

この「年間レポート」は、月次レポートで調査した1年間の景気動向について、地域別の特色や傾向をまとめたものです。全国各地域でご奮闘されている経営者の皆さまに、経営のヒントとしてお役立ていただくことを目的としています。

<調査概要>

- 調査期間・・・2019年4月～2020年2月
※2020年3月は、新型コロナウイルスの影響を踏まえ調査を中止しました。
- 調査対象・・・企業経営者
- 調査方法・・・当社営業職員が訪問により調査
- 回答企業数・・・毎月 約6,900社
※約5割が当社ご契約企業／詳細は巻末データ参照

▶「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命Webサイトでご覧いただけます。

<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/>

※「大同生命サーベイ」で検索、または表紙のQRコードからご覧ください。

<ご参考>

「大同生命サーベイ」では、景気動向以外にも、現在の社会動向も踏まえた経営者のみなさまの関心が高い「個別テーマ」についても調査しています。

(過去1年間の個別テーマ)

調査時期	個別テーマ
2020年 3月	(新型コロナウイルスの影響を踏まえ、調査を中止しました)
2月	補助金・助成金の活用実態
1月	販路開拓へ向けた取組み
2019年 12月	2019年の振り返りと2020年への期待、環境問題への関心
11月	働き方改革への対応
10月	資金調達と金融機関との関わり
9月	中小企業における環境変化と経営課題
8月	健康増進への取組み
7月	災害への備え
6月	消費増税による影響
5月	外国人労働者の雇用実態
4月	中小企業における仕事と介護の両立の実態

目 次

I 景気動向

①全体（業種別・従業員規模別など）	・ ・ ・ ・ ・ P 3
②地域別一覧	・ ・ ・ ・ ・ P 5

II 地域別の状況

①北海道	・ ・ ・ ・ ・ P 7
②東北 （青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）	・ ・ ・ ・ ・ P 9
③北関東 （茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県）	・ ・ ・ ・ ・ P 11
④南関東 （千葉県、東京都、神奈川県）	・ ・ ・ ・ ・ P 13
⑤北陸・甲信越 （新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）	・ ・ ・ ・ ・ P 15
⑥東海 （岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）	・ ・ ・ ・ ・ P 17
⑦関西 （滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）	・ ・ ・ ・ ・ P 19
⑧中国 （鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）	・ ・ ・ ・ ・ P 21
⑨四国 （徳島県、香川県、愛媛県、高知県）	・ ・ ・ ・ ・ P 23
⑩九州・沖縄 （福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）	・ ・ ・ ・ ・ P 25

（参考）回答企業の属性	・ ・ ・ ・ ・ P 27
-------------	----------------

— ご利用にあたって —

- ・本資料は、「大同生命サーベイ」の調査結果の開示を目的としており、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- ・本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。引用する際は、「出所:大同生命サーベイ(2019年度 年間レポート)」と明記ください。
- ・本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。
- ・本資料は、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

※本資料で表示する回答率(%)等は、小数点第1位(景況感是小数点第2位)を四捨五入した値を使用しています。

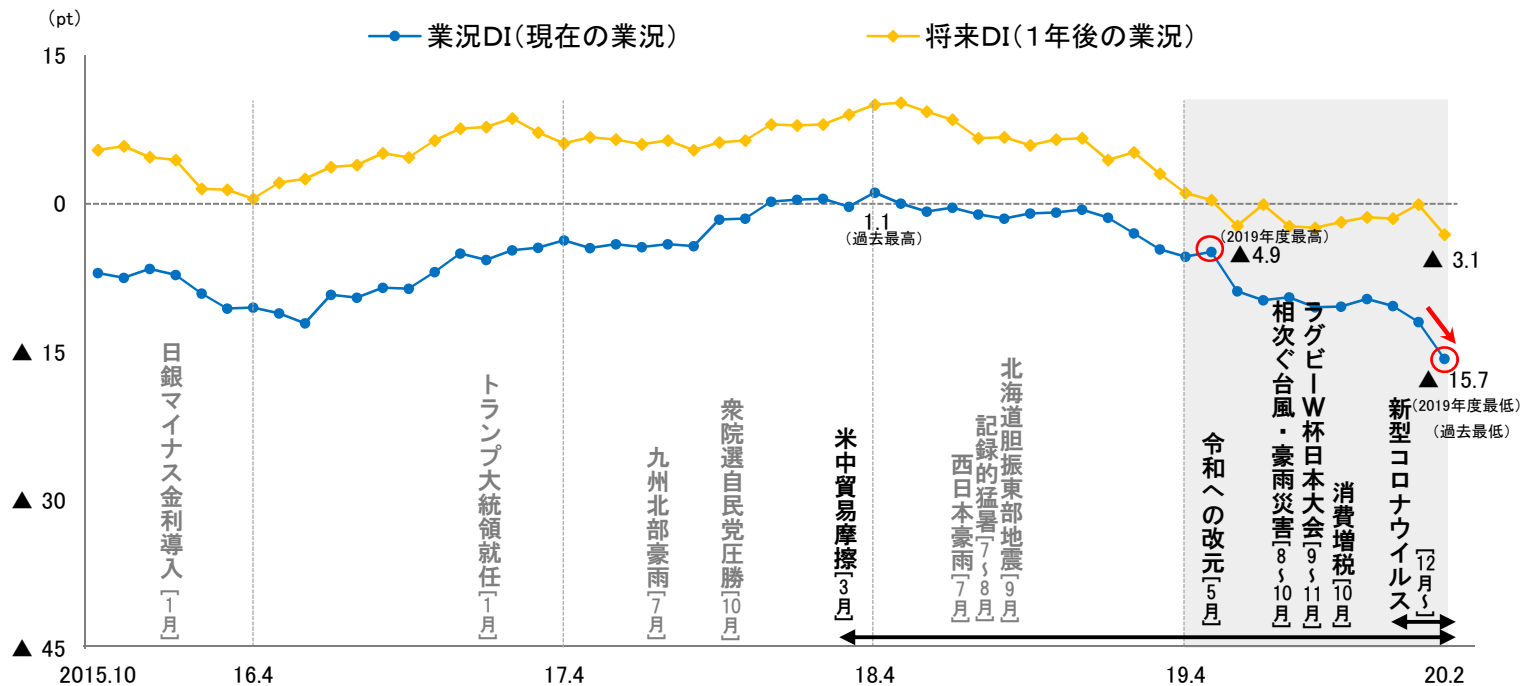
※特に記載がない場合、「無回答」を除いた集計をしています。

※本調査は、当社ご契約企業を中心に実施しており、各調査結果に若干の偏りが生じる場合があります。

I 景気動向 ①全体【大同生命サーベイ調査結果】

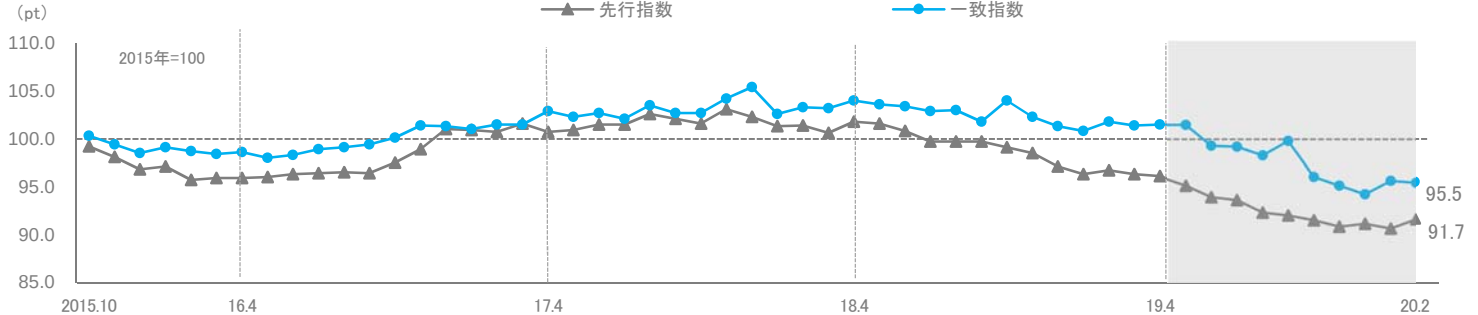
- ✓ 2019年度は、「令和への改元(5月)」や「ラグビーW杯日本大会(9～11月)」など明るい話題があった一方、米中貿易摩擦による世界経済停滞や台風15号(9月)・19号(10月)などの自然災害、消費増税(10月)の影響により中小企業の業況DI(現在の業況)は全体的に悪化傾向となり、年明け以降は、新型コロナウイルスの感染拡大による国内経済への影響がはじまり、2020年2月には調査開始(2015年10月)以降で過去最低値を記録しました。
- ✓ 業種別の業況DIでは、「建設業」はプラス圏内で推移した一方で、「製造業」は大幅に悪化しました。また、従業員規模別では、「5人以下」の企業で厳しい状況が継続するとともに、「21人以上」の企業でも、大幅に低下し、2016年6月以来、約3年ぶりのマイナスに転じました。
- ✓ 従業員過不足DIは、特に景況感の良い「建設業」が他業種に比べ低く、人手不足感が高いことがうかがえました。一方、「製造業」では2019年度の下半期にかけて回復傾向が見られました。

■大同生命サーベイ業況・将来DI



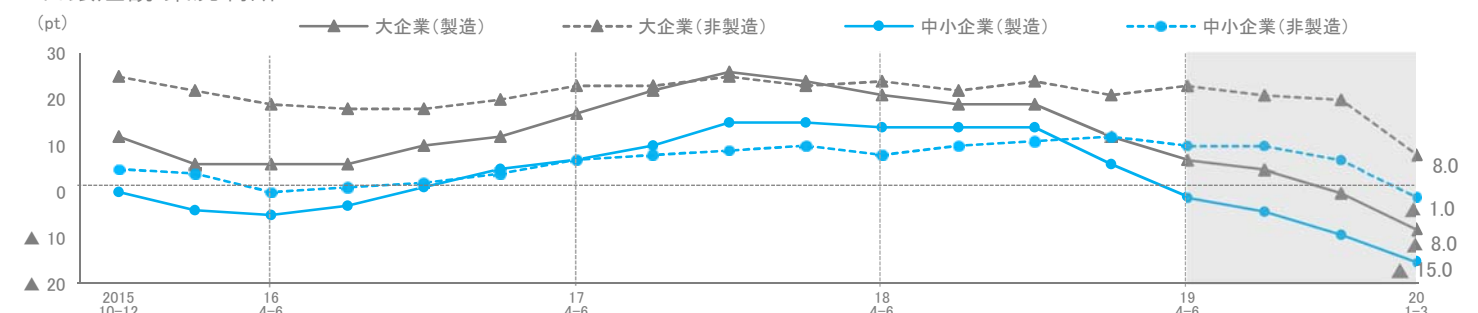
(参考)

■内閣府 景気動向指数



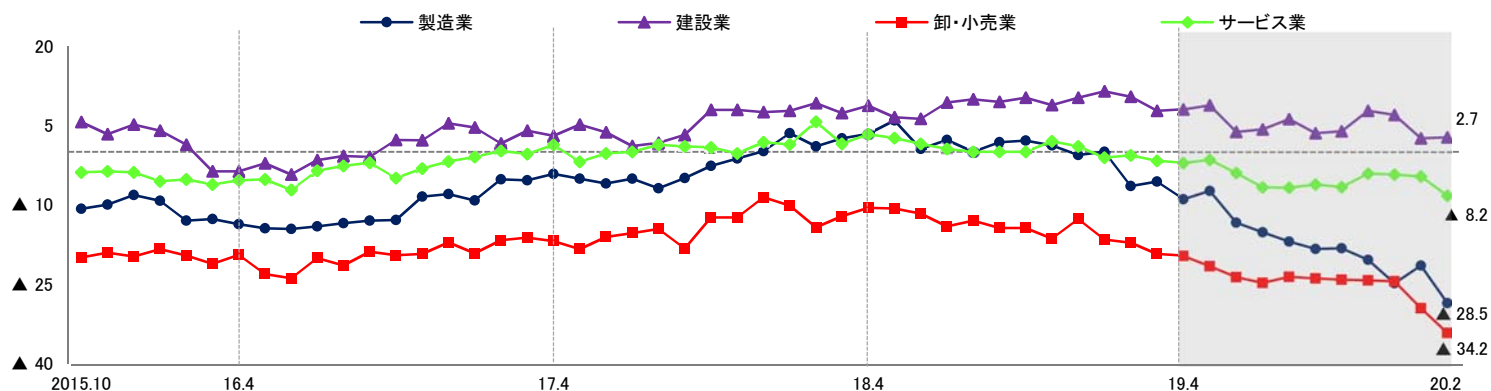
(出所) 内閣府「景気動向指数C I」

■日銀短観 業況判断DI

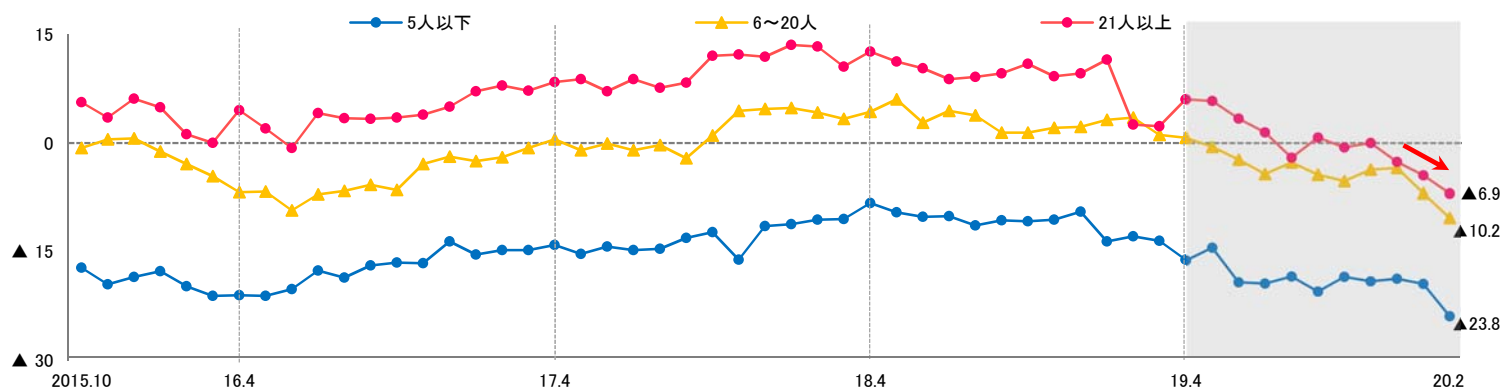


(出所) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

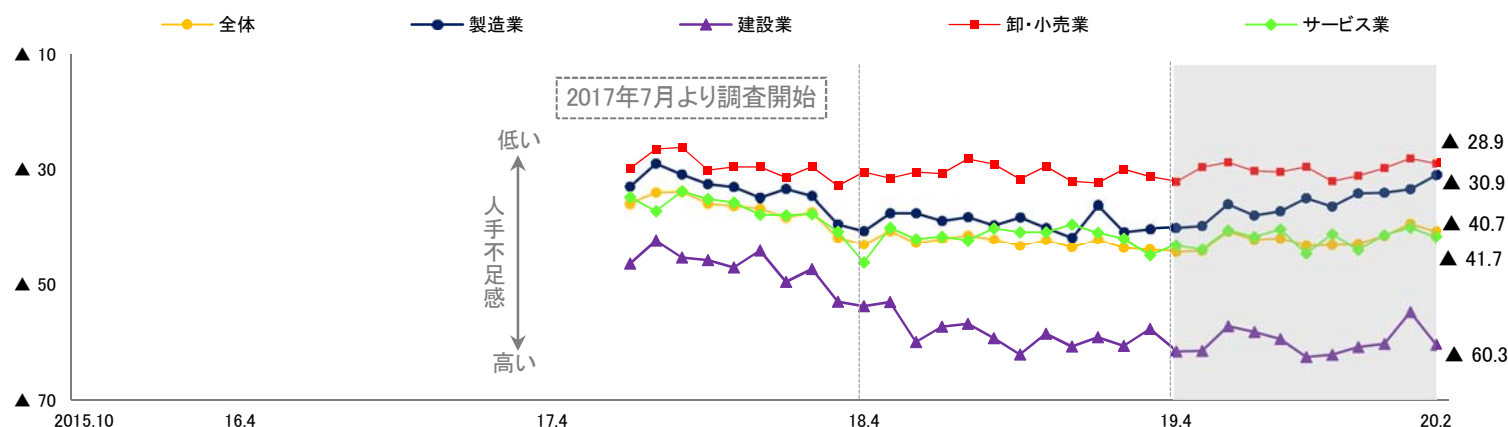
■大同生命サーベイ業況D I（業種別）



■大同生命サーベイ業況D I（従業員規模別）



■大同生命サーベイ従業員過不足D I



<2019年の出来事で印象に残っているもの [2019年12月調査/上位10項目] >

1位	ラグビーW杯日本大会 日本快進撃 初のベスト8進出 [9~11月]	35.9
2位	相次ぐ台風・豪雨災害 [8~10月]	35.8
3位	令和へ改元・第126代天皇陛下が即位 [5月]	33.5
4	消費税10%スタート、キャッシュレス還元も同時スタート [10月]	33.3
5	働き方改革関連法施行(残業規制、有給休暇取得義務化など) [4月]	21.0
6	プロゴルフ 渋野日向子選手が全英女子オープン初優勝 [8月]	17.4
7	相次ぐ自動車事故・トラブル(高齢ドライバーによる事故、あおり運転など)	10.5
8	メジャーリーガー イチロー選手が現役引退 [3月]	9.9
9	日韓貿易摩擦(韓国をホワイト国[輸出優遇国]から除外) [8月]	9.6
10	米トランプ政権が対中制裁関税を引き上げ、中国も対抗 [5月]	9.2

n=7,098
※複数回答
(%)

※20項目の選択肢より回答

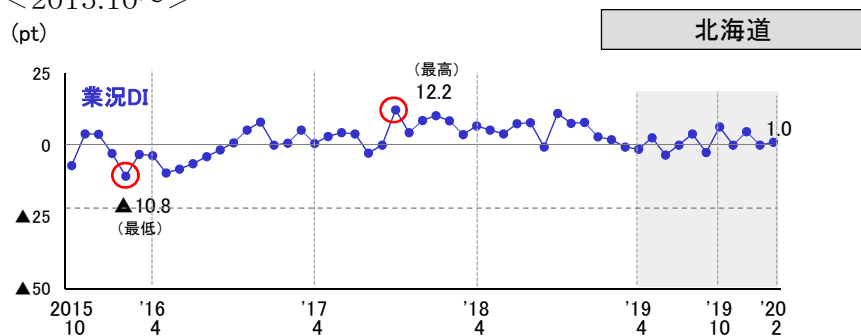
I 景気動向 ②地域別一覧 [大同生命サーベイ調査結果]

✓ 地域別の景気動向は、2020年2月時点で、「北海道」が唯一プラス圏内を維持しました。

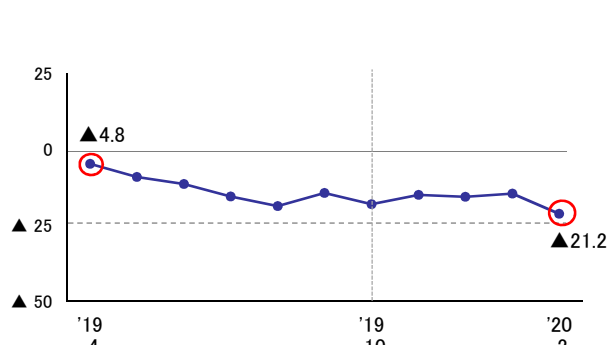
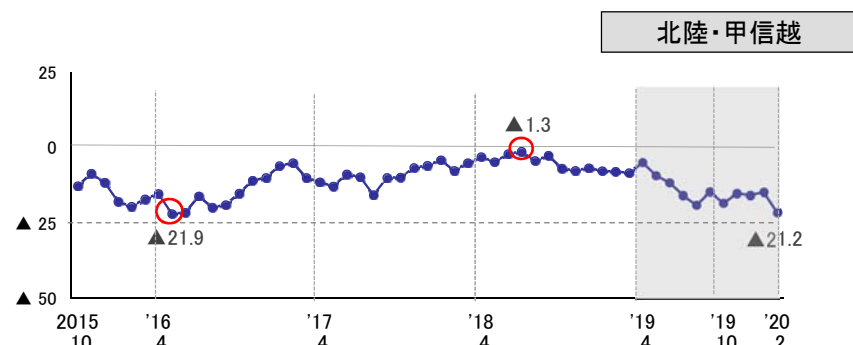
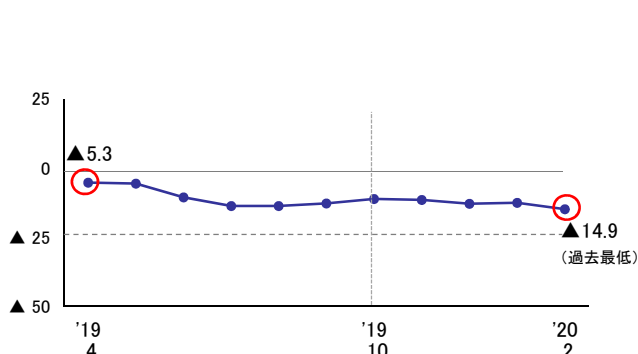
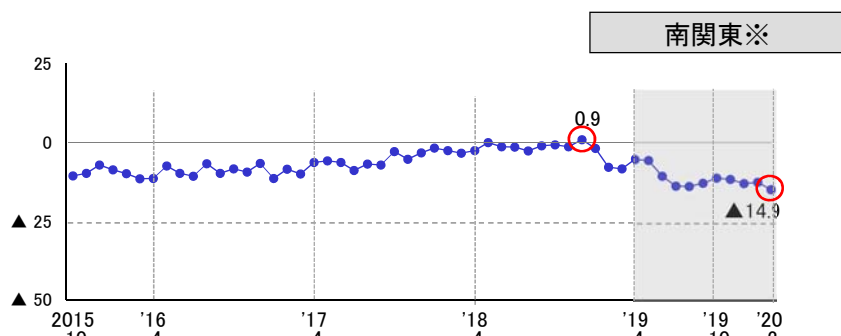
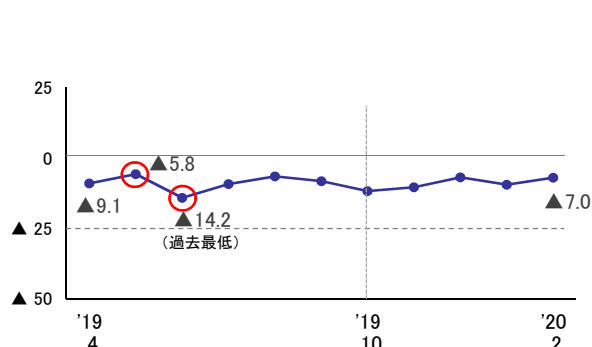
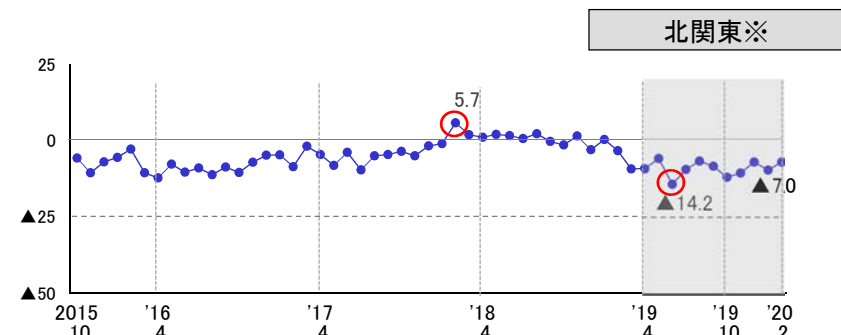
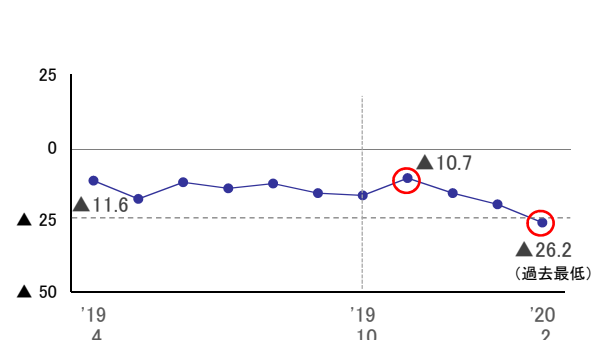
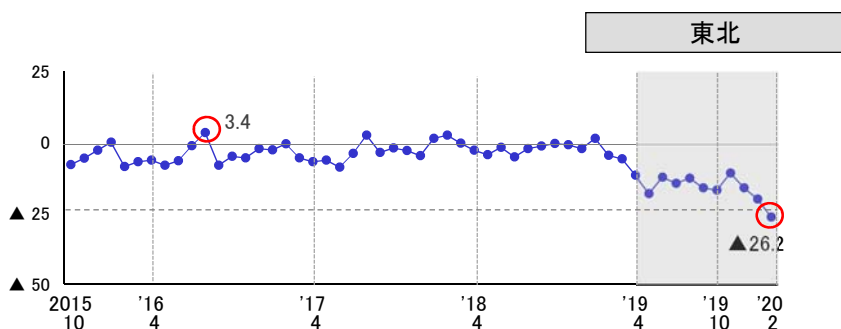
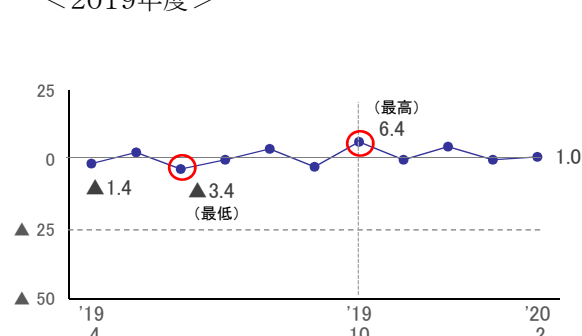
「中国」では8月に調査開始(2015年10月)以降で過去最高値を記録。また、「四国」では4月に過去最高値を記録したものの、1月には過去最低値を記録するなど、浮き沈みの激しい年度となりました。その他の地域では、6月に「北関東」、9月に「九州・沖縄」、2月に「東北」「南関東」「関西」で過去最低値を記録しました。

<2015.10～>

(pt)



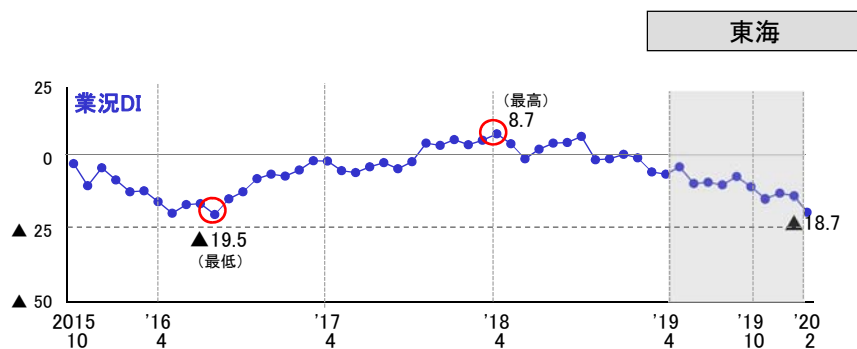
<2019年度>



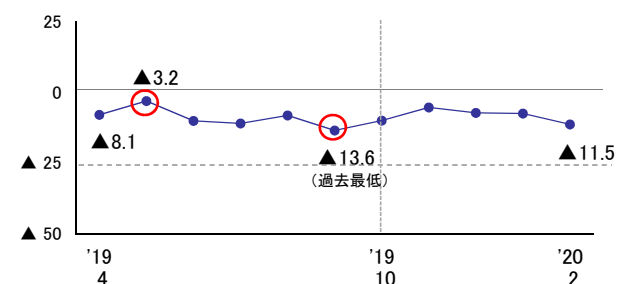
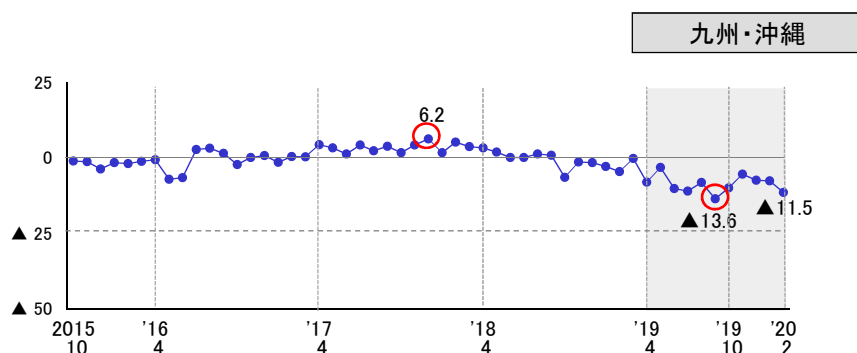
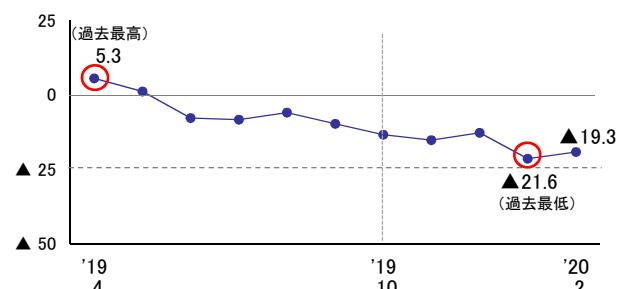
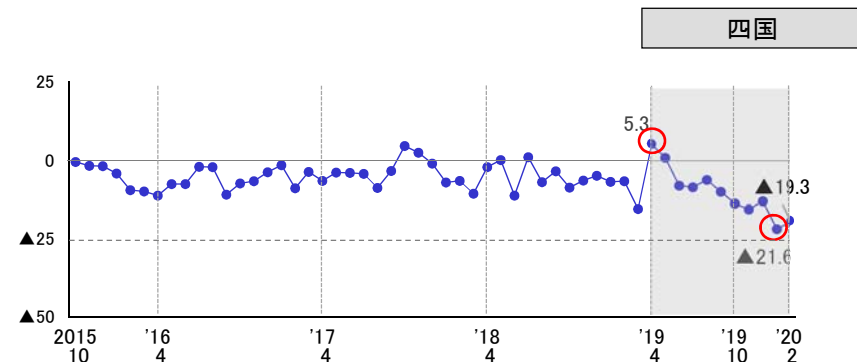
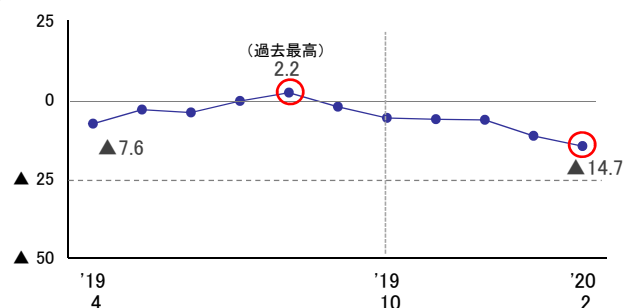
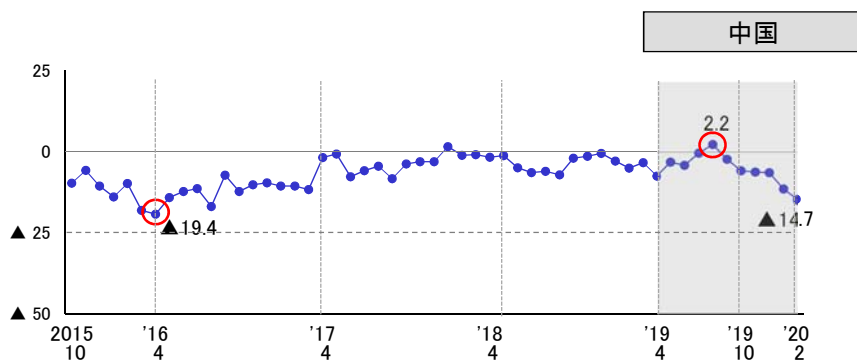
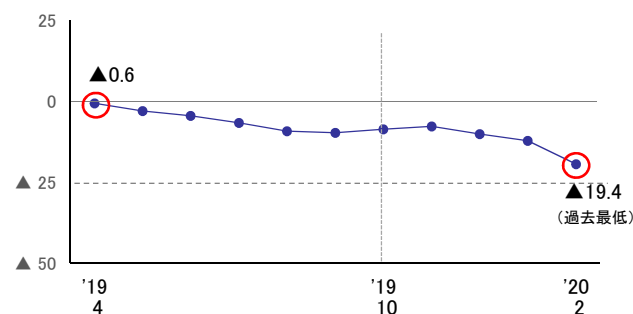
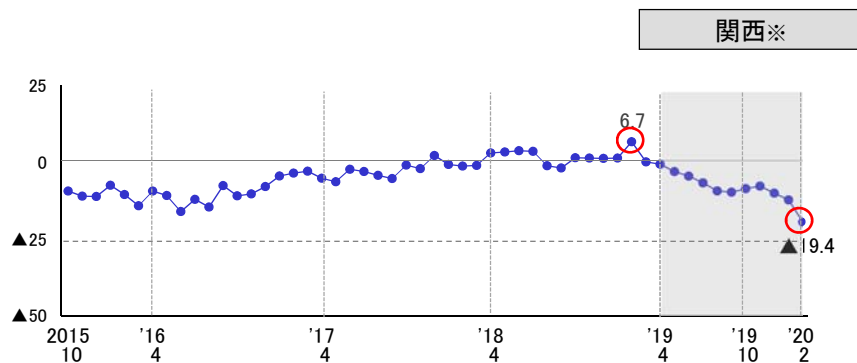
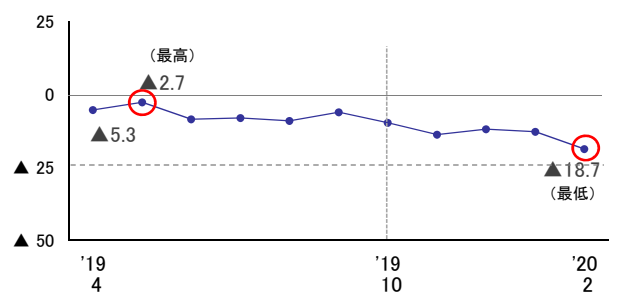
※(北関東)茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 (南関東)千葉県、東京都、神奈川県

I 景気動向 ②地域別一覧 [大同生命サーベイ調査結果]

<2015.10～>



<2019年度>



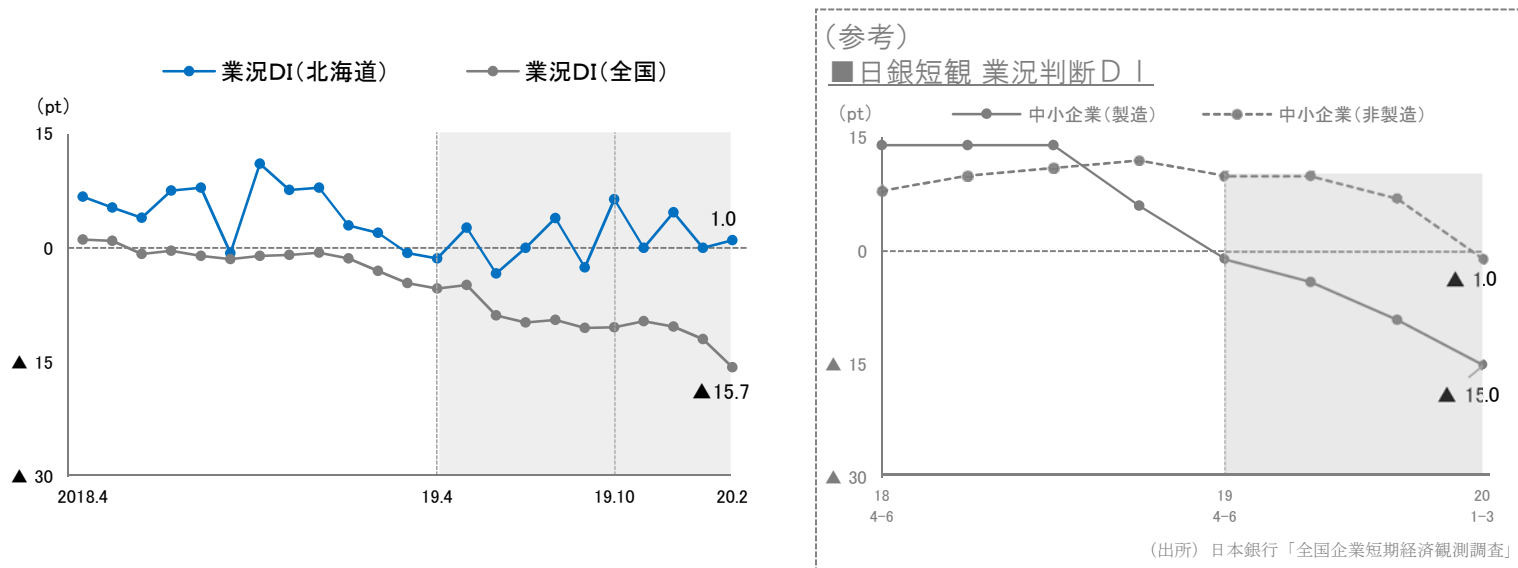
※ (関西)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

II 地域別の状況 ①北海道

2019年度の北海道経済は、建設業やサービス業の好調を背景に全体としては堅調に推移しました。2月は新型コロナウイルスの影響などにより全国的に景気減速感が見られるなか、業況DIは全国で唯一プラス圏内を維持しました。

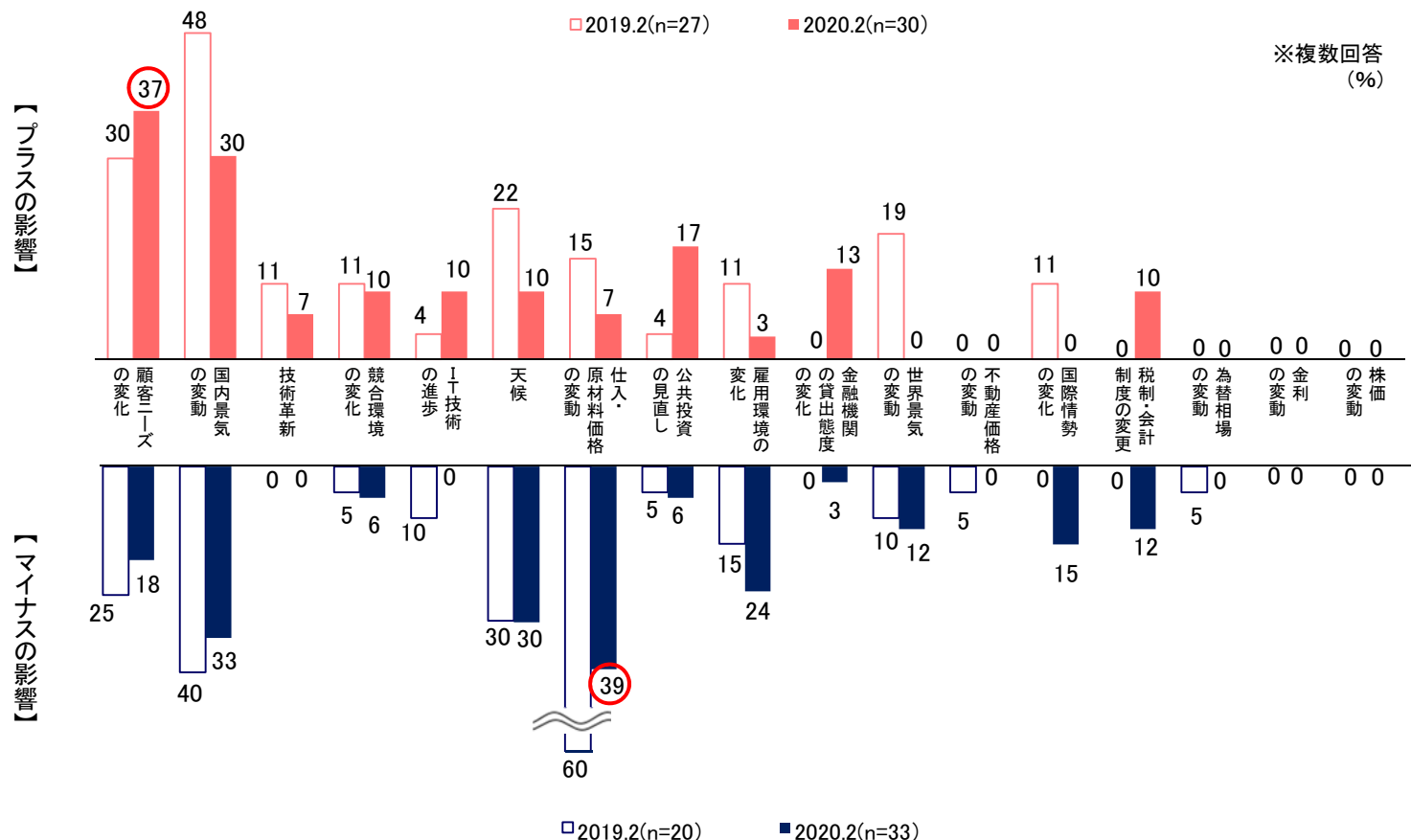
1. 大同生命サーベイ業況DI（北海道・全国比較）

✓ 業況DIは全国平均を上回る水準で推移しており、概ねプラス圏内を維持しています。



2. 景況感に影響を与えた要因（北海道／2019年2月・2020年2月比較）

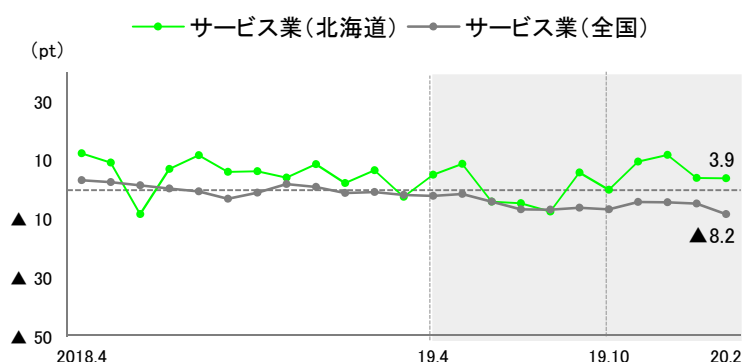
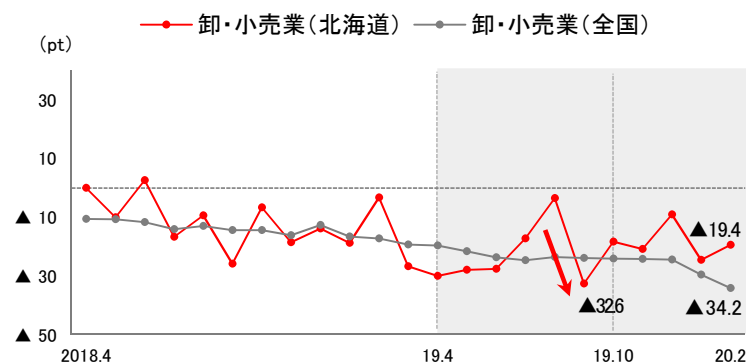
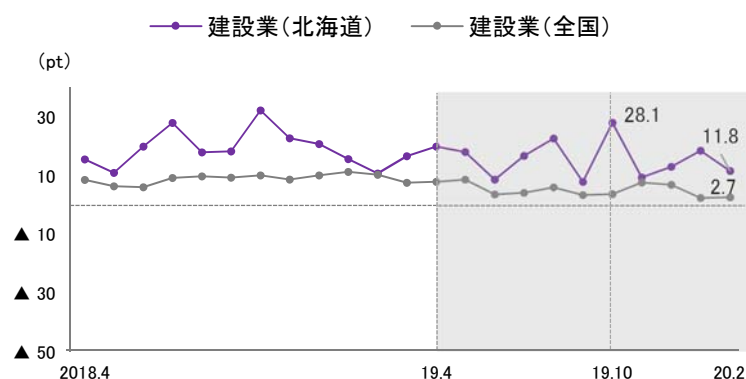
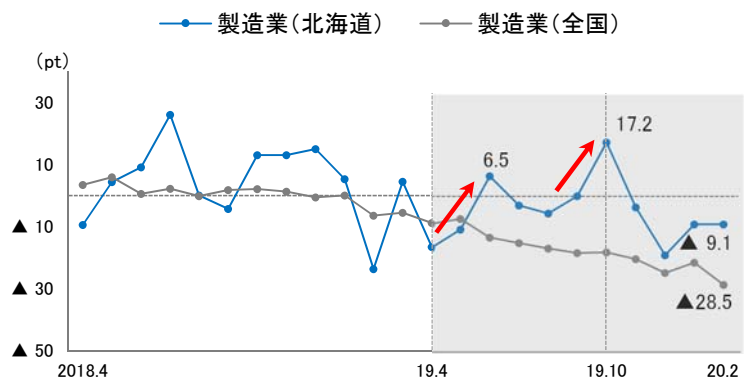
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



II 地域別の状況 ①北海道

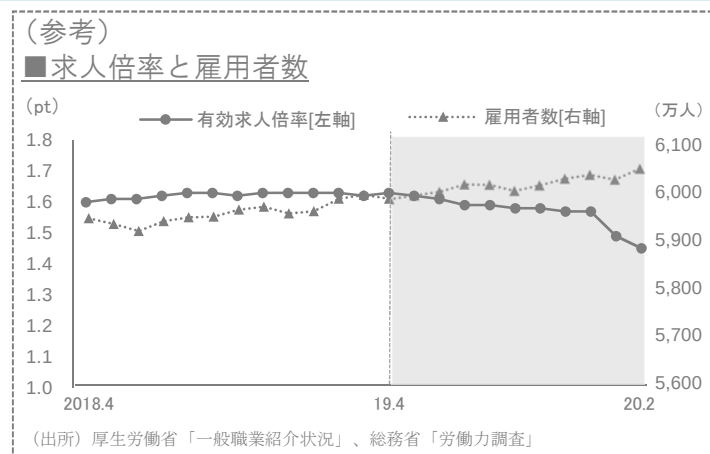
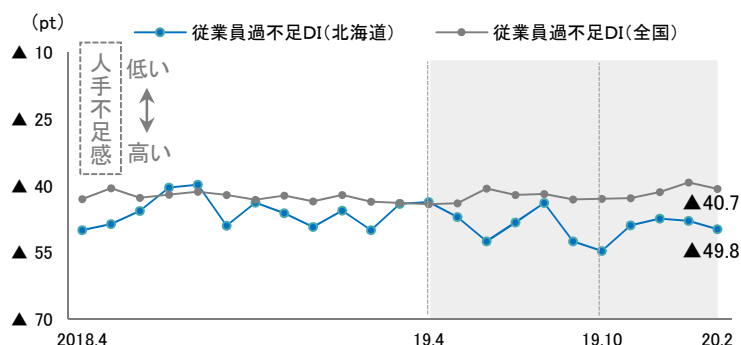
3. 大同生命サーベイ業況DI (業種別/北海道・全国比較)

製 造	6月と10月に大幅に好転するなど、6月以降は全国平均を大きく上回る水準で推移。
建 設	年間を通じて、プラス圏内にて全国平均を大きく上回る水準で推移。
卸・小売	9月に大きく落ち込んだものの、10月以降は全国平均を上回る水準で推移。
サービス	下半期はプラス圏内に回復し、全国平均を大きく上回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI (北海道・全国比較)

- ✓ 従業員過不足DIは、8月を除き、全国平均を大幅に下回る水準で推移しました。人手不足感の高まりが見受けられます。

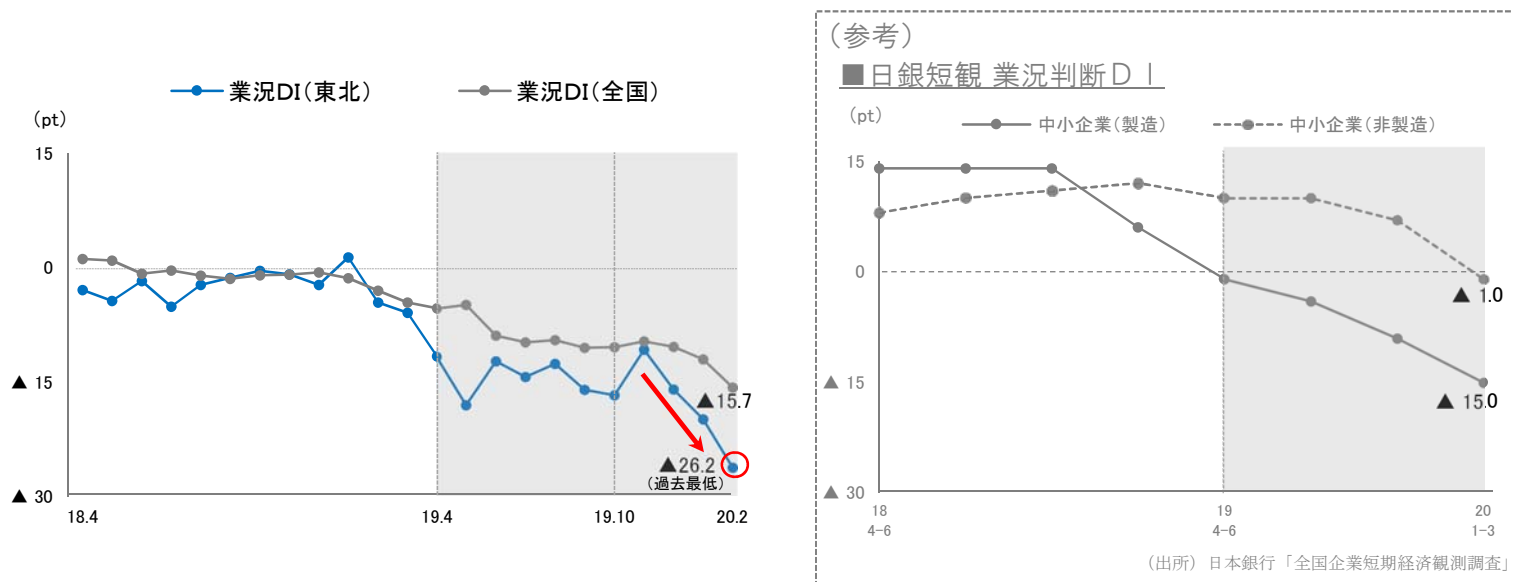


II 地域別の状況 ②東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

2019年度の東北経済は、米中貿易摩擦や中国経済の減速により、景況感に下押し圧力が見受けられました。2月は新型コロナウイルスの影響などにより、全業種で全国平均を下回る水準となり、より一層の減速感が見られました。

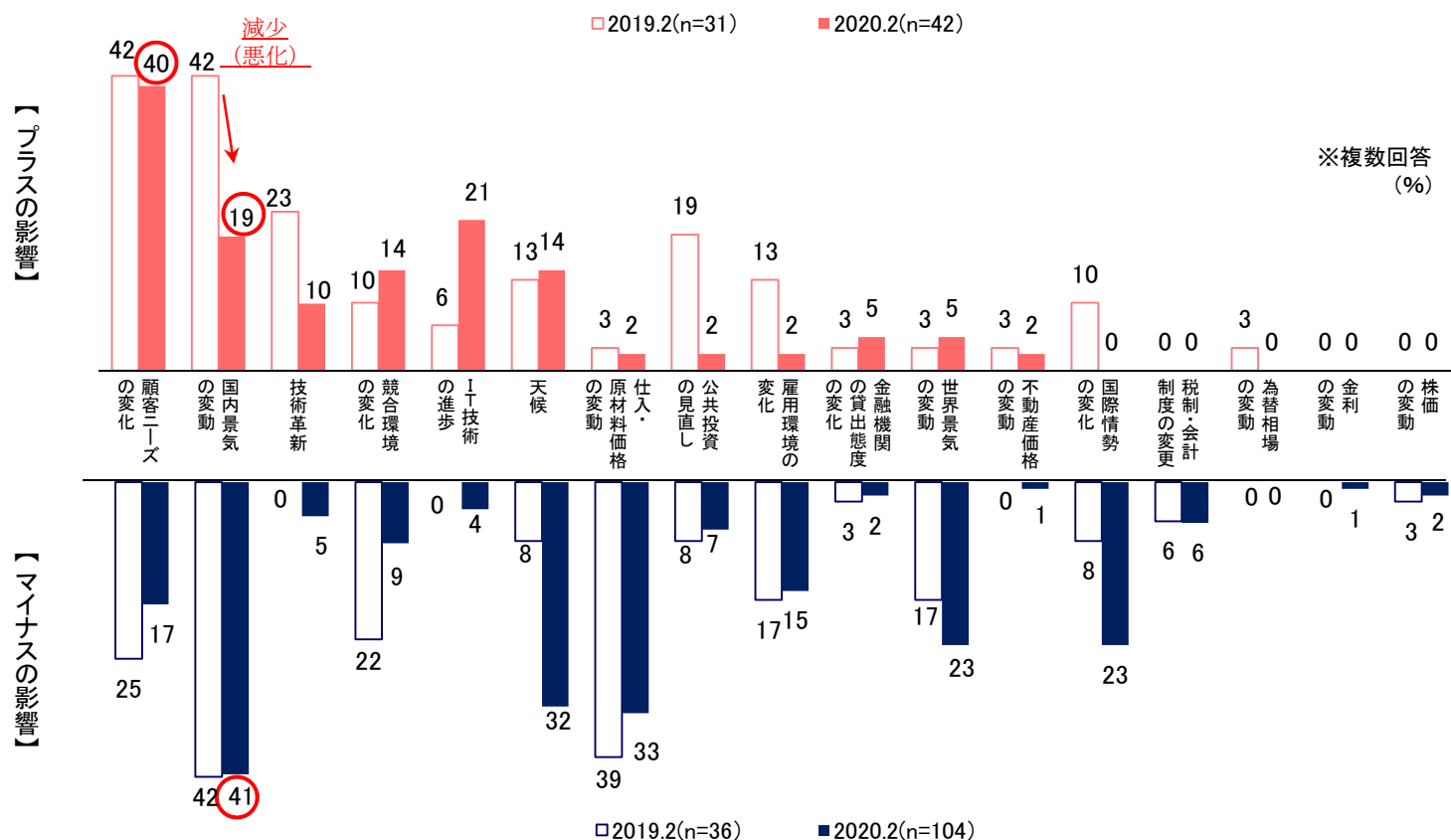
1. 大同生命サーベイ業況DI（東北・全国比較）

✓ 業況DIは、全国平均を下回る水準で推移し、特に12月以降は大きく落ち込みました。



2. 景況感に影響を与えた要因（東北／2019年2月・2020年2月比較）

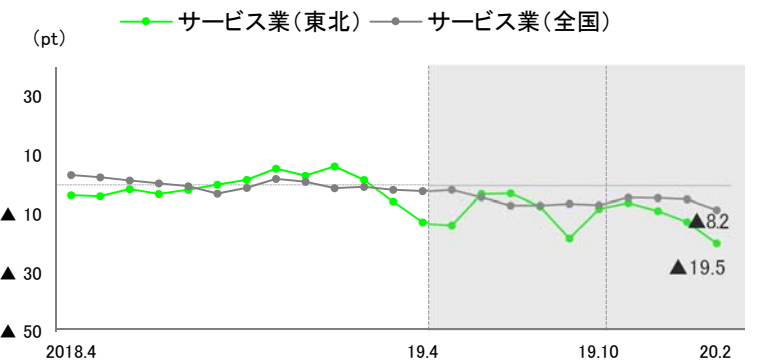
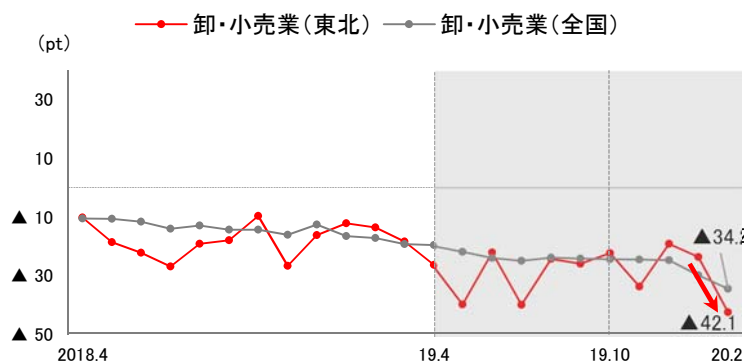
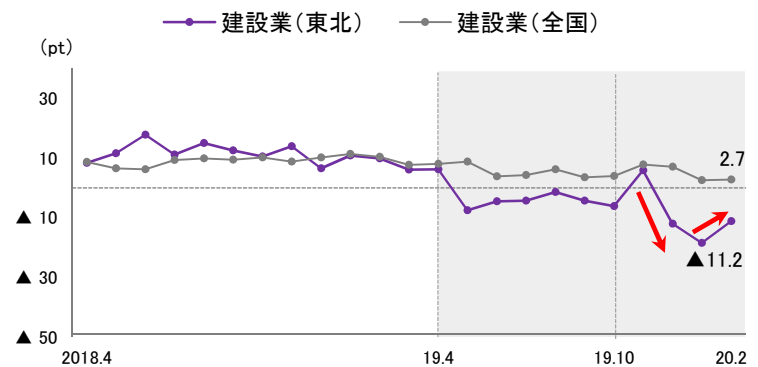
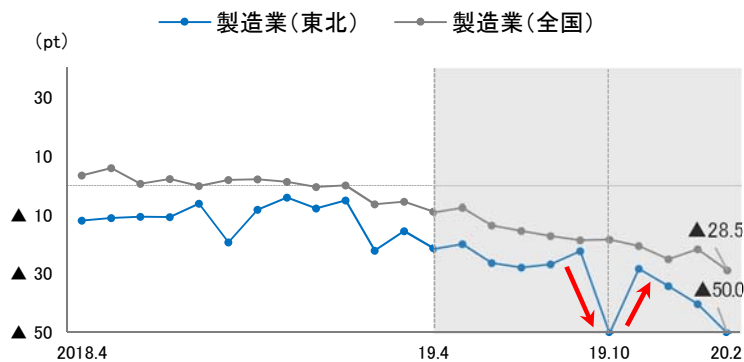
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。特にプラスの影響では、「国内景気の変動(好転)」が前年に比べ23pt悪化しました。



Ⅱ 地域別の状況 ②東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）

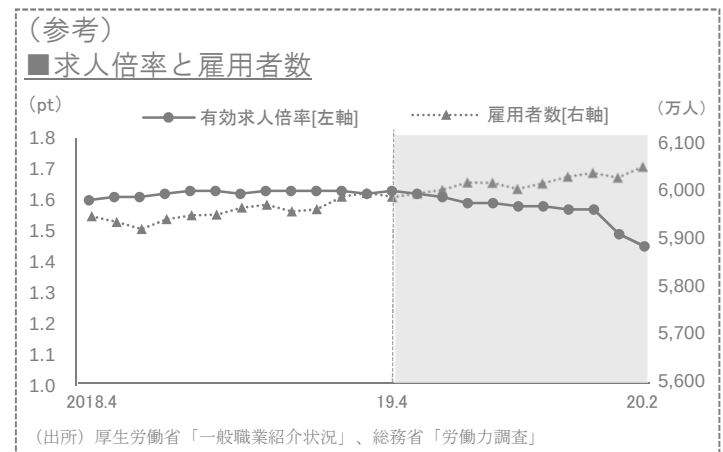
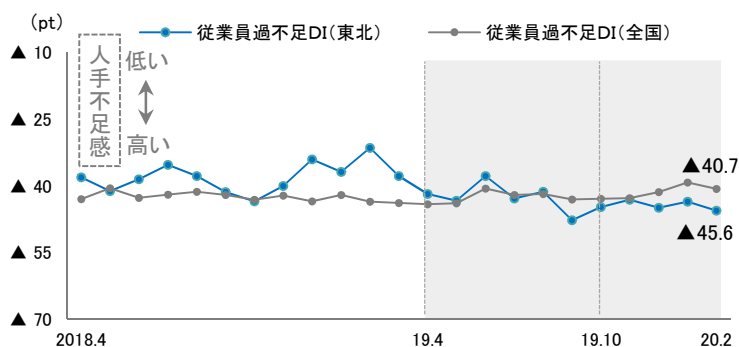
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／東北・全国比較）

製造	10月に大きく落ち込み、11月に回復したものの、全国平均を下回る水準で推移。
建設	12～1月に大きく悪化し、2月にやや回復したものの、全国平均を大きく下回る水準で推移。
卸・小売	12～1月に全国平均を上回ったものの、2月に大きく落ち込み、概ね全国平均を下回る水準で推移。
サービス	全国平均を概ね下回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（東北・全国比較）

- ✓ 従業員過不足DIは上半期は概ね全国平均と同水準、下半期は全国平均を下回る水準で推移しました。人手不足感の高まりが見受けられます。

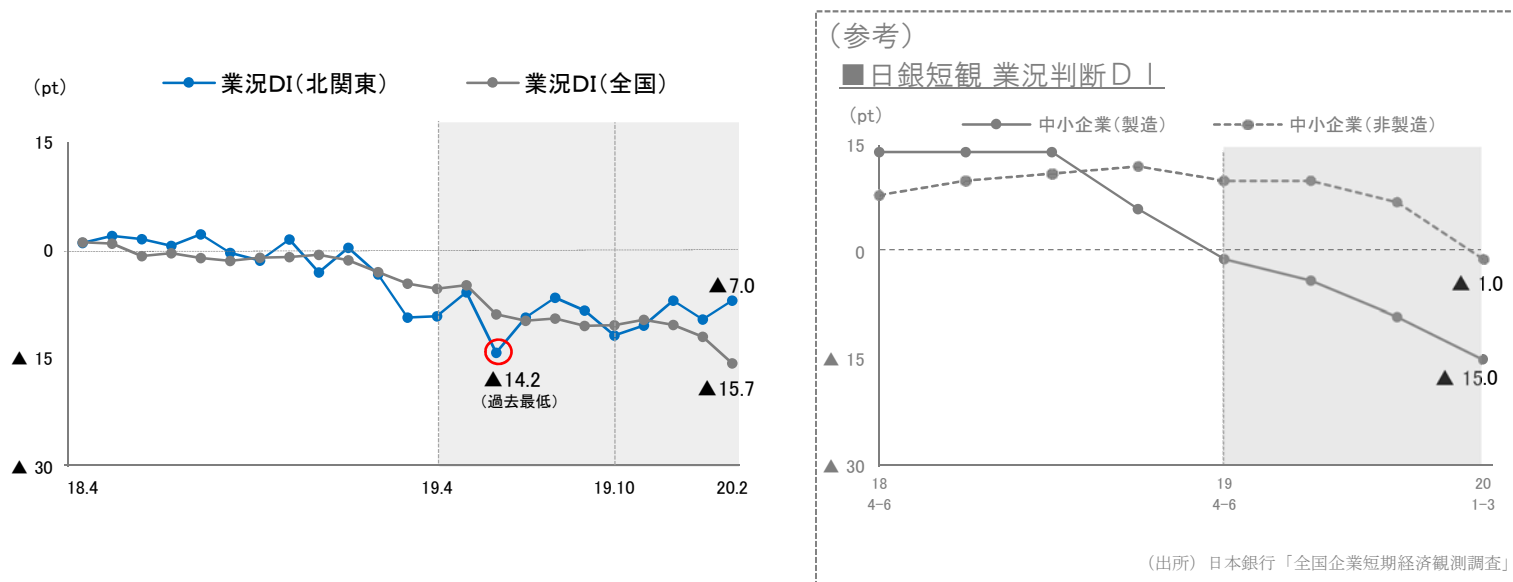


II 地域別の状況 ③北関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県）

2019年度の北関東経済は、年明け以降、新型コロナウイルスの影響などにより、全国的に景気減速感が見られるなか、地域全体の景況感は全国平均を大きく上回る水準で推移しました。

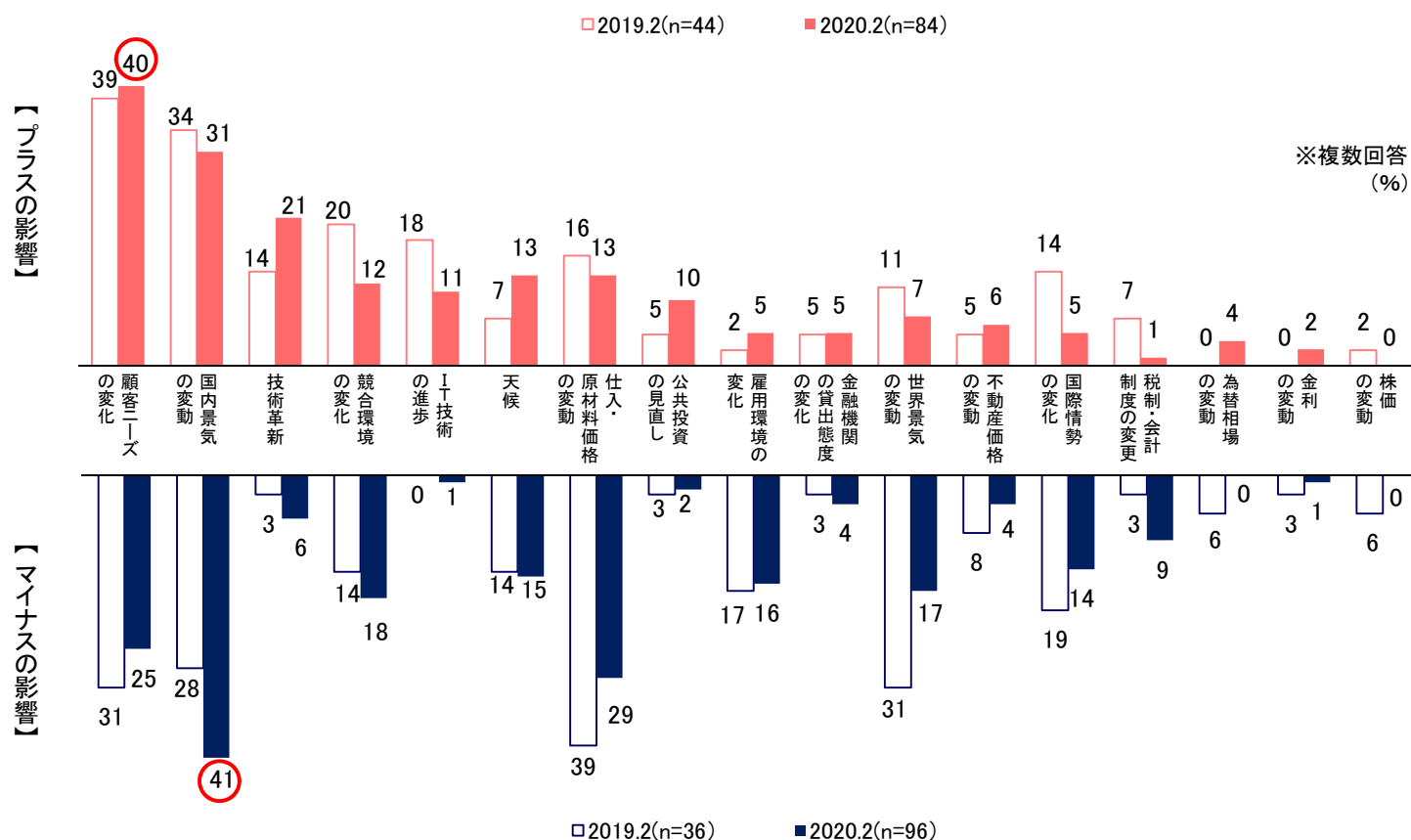
1. 大同生命サーベイ業況DI（北関東・全国比較）

✓ 業況DIは、12～2月に、全国平均を大きく上回る水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（北関東／2019年2月・2020年2月比較）

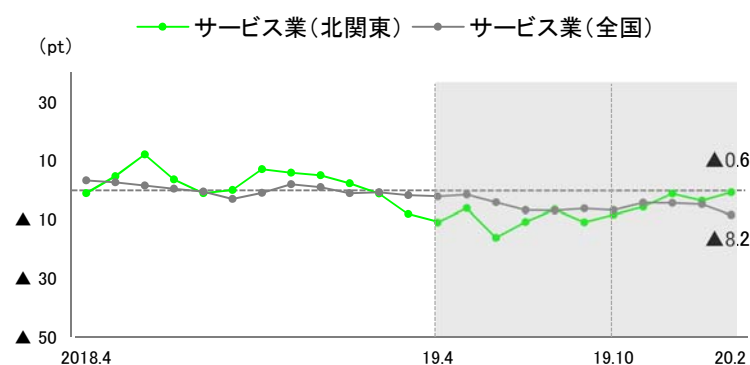
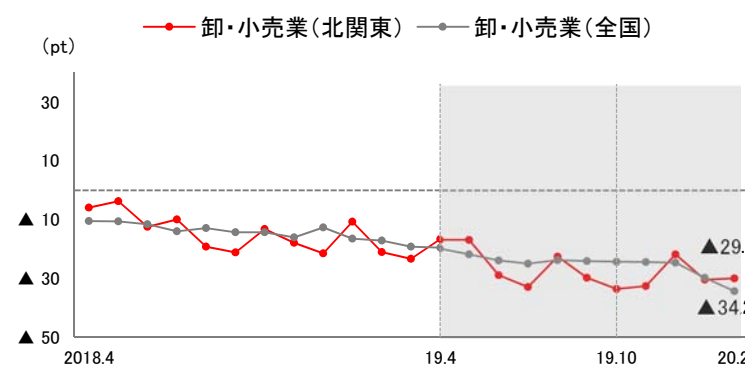
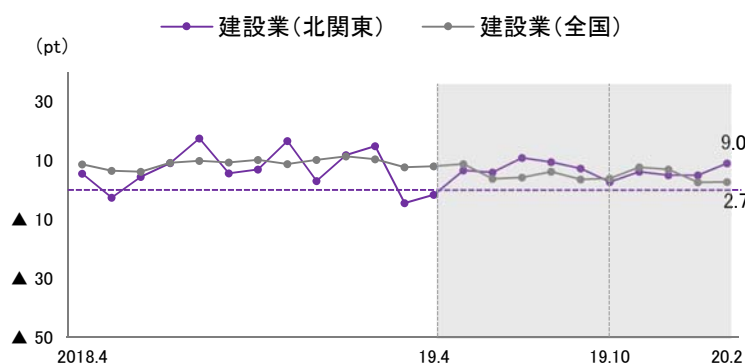
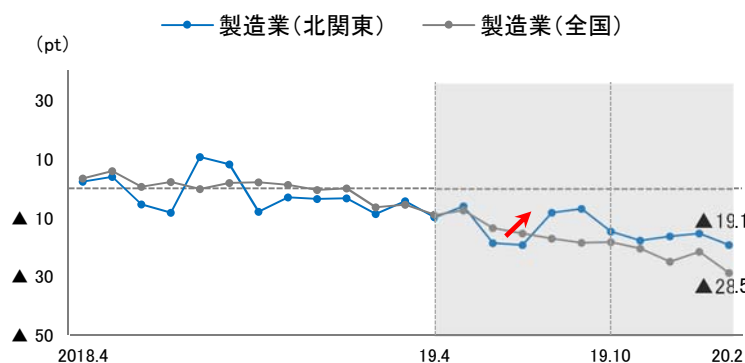
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動（悪化）」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別の状況 ③北関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県）

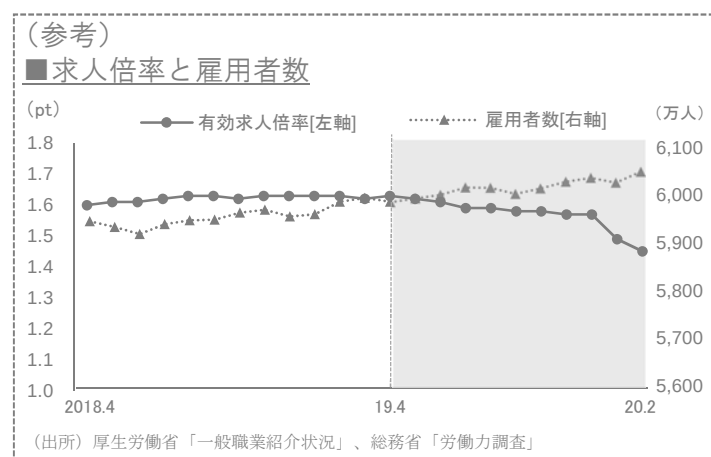
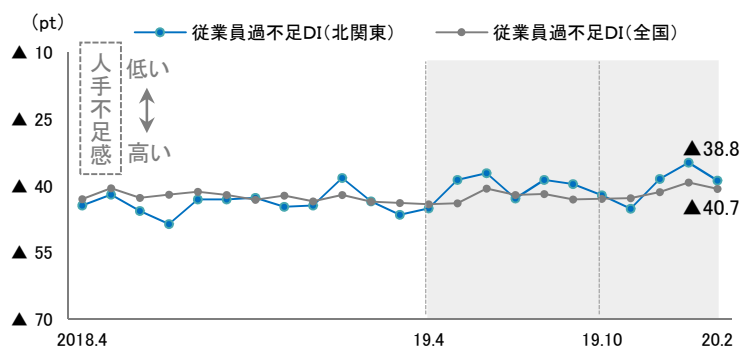
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／北関東・全国比較）

製造	8月以降は全国平均を大きく上回る水準で推移。
建設	5月以降はプラス圏内を維持し、全国平均と概ね同水準で推移。
卸・小売	全国平均をやや下回る水準で推移。
サービス	全国平均と概ね同水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（北関東・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国平均と概ね同水準で推移しました。

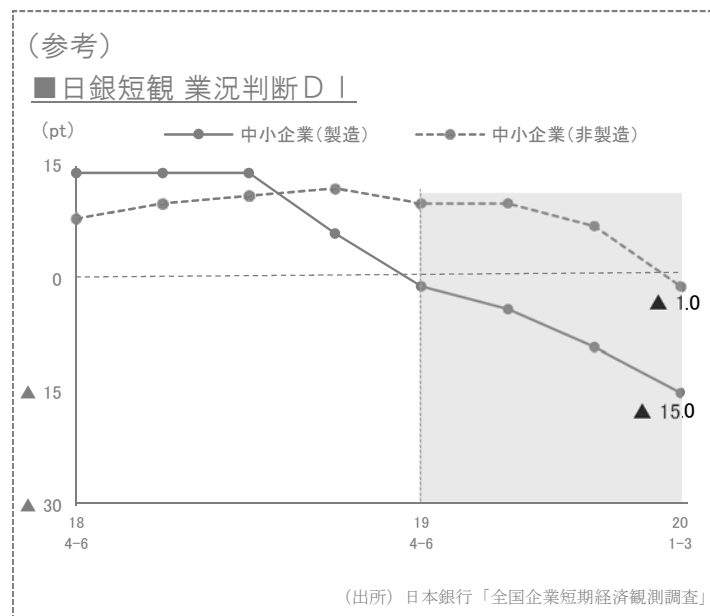
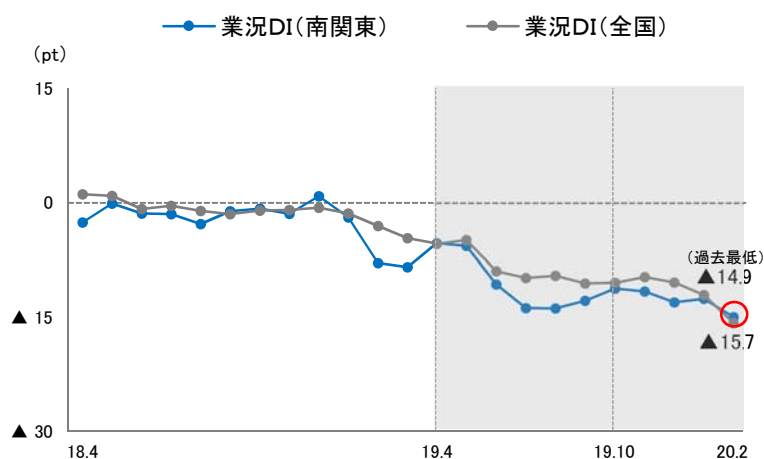


II 地域別の状況 ④南関東（千葉県、東京都、神奈川県）

2019年度の南関東経済は、米中貿易摩擦や中国経済の減速、さらにはオリンピック関連事業の一服感などにより、地域全体の景況感は、全国平均を下回る水準で推移しました。

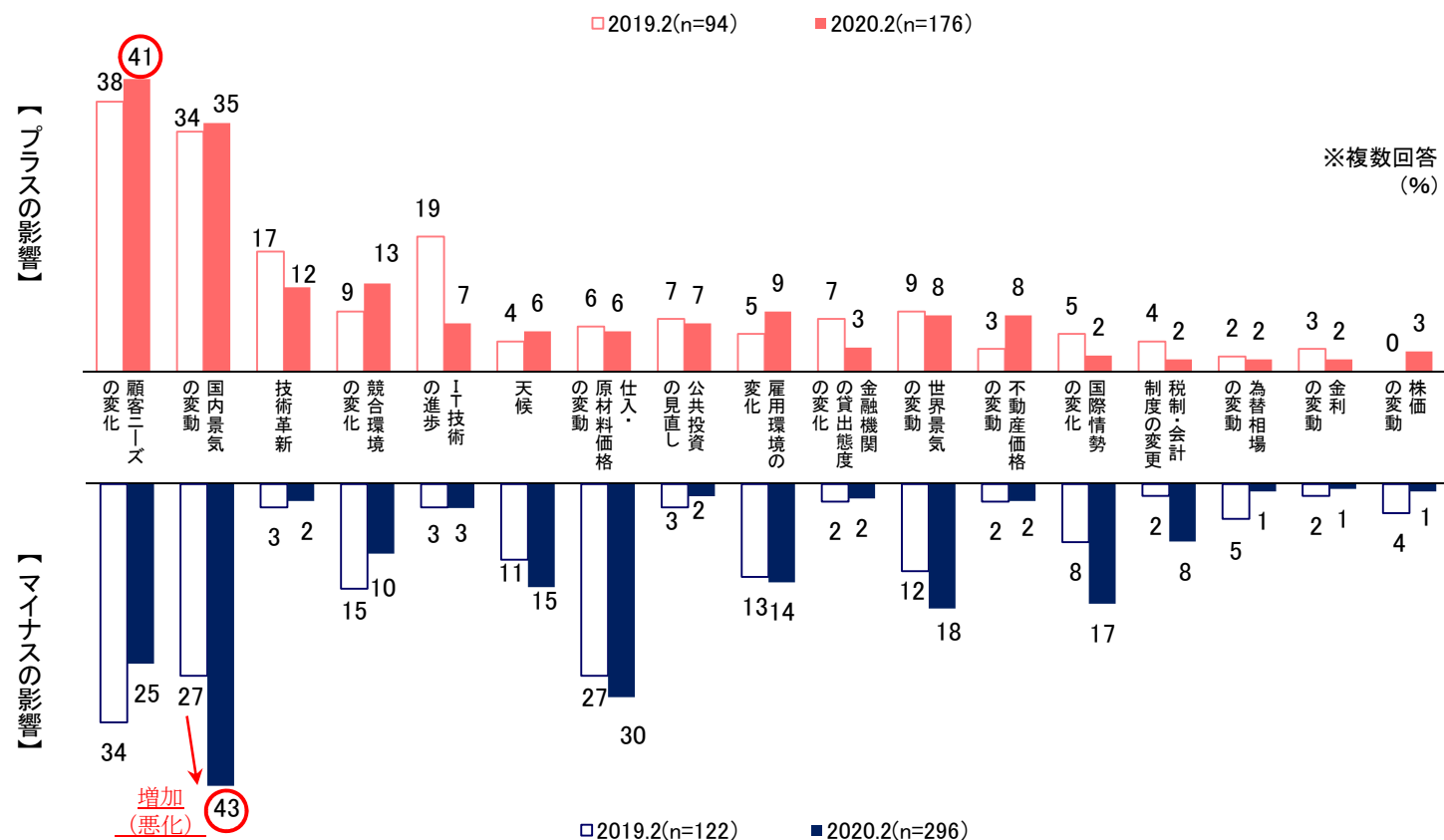
1. 大同生命サーベイ業況DI（南関東・全国比較）

✓ 業況DIは全国平均を概ね下回る水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（南関東／2019年2月・2020年2月比較）

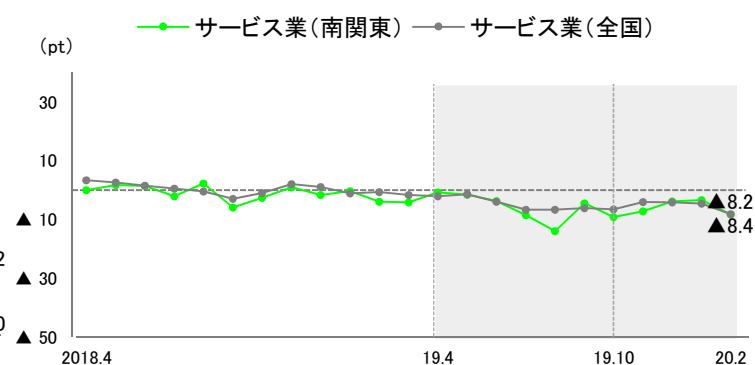
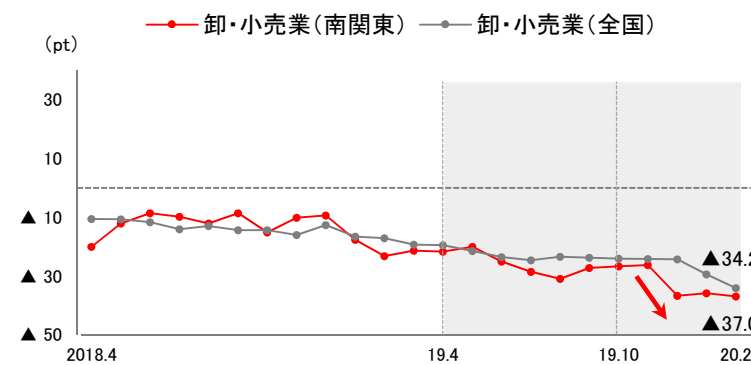
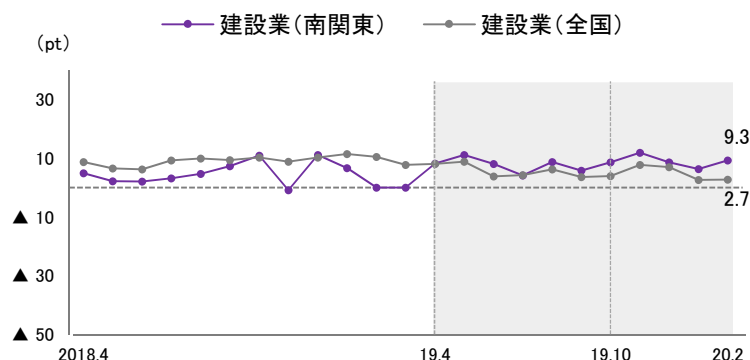
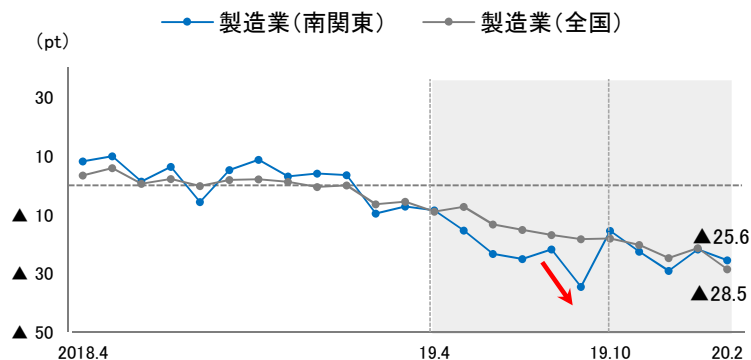
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。特にマイナスの影響では「国内景気の変動(悪化)」が前年に比べ16pt悪化しました。



Ⅱ 地域別の状況 ④南関東（千葉県、東京都、神奈川県）

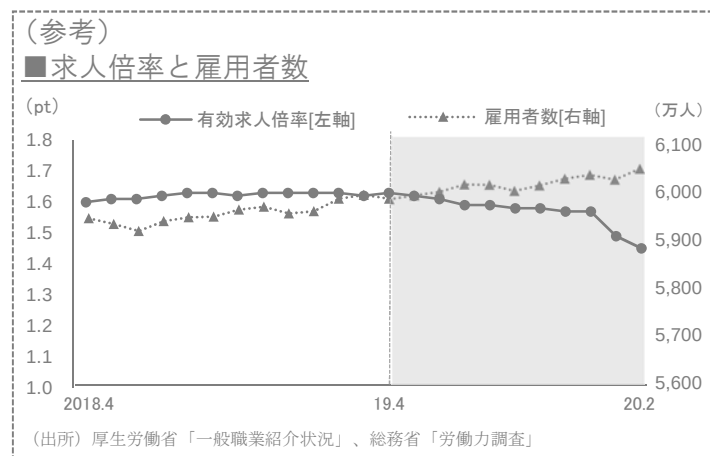
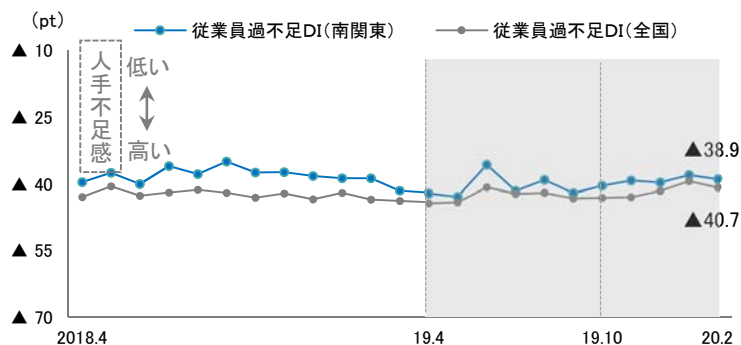
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／南関東・全国比較）

製造	9月の大きな落ち込みを除き、全国平均をやや下回る水準で推移。
建設	プラス圏内で全国平均をやや上回る水準で推移。
卸・小売	12月の大きな落ち込みを除き、全国平均をやや下回る水準で推移。
サービス	全国平均と概ね同水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（南関東・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国平均を上回る水準で推移しました。

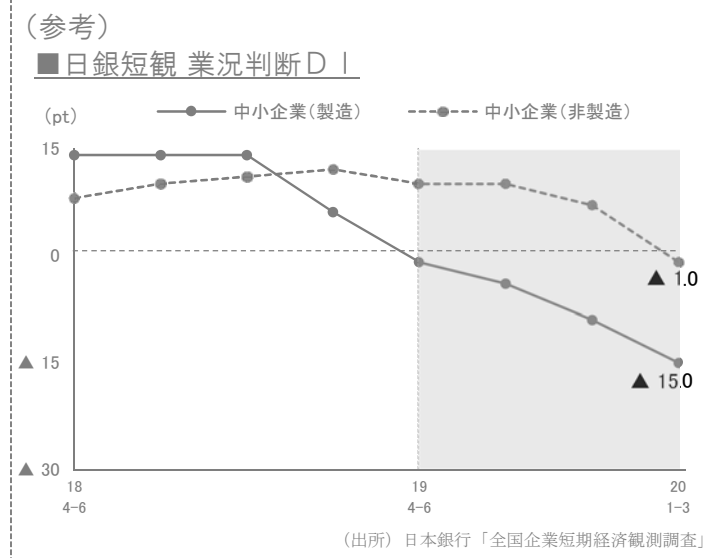
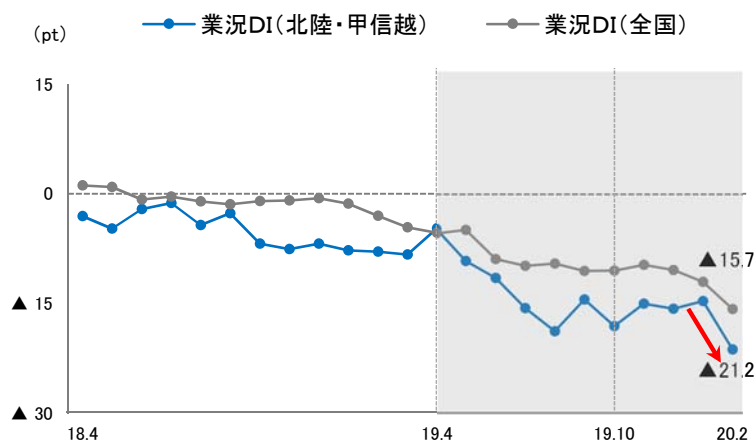


II 地域別の状況 ⑤北陸・甲信越（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）

2019年度の北陸・甲信越経済は、米中貿易摩擦や中国経済の減速により、5月以降、地域全体の景況感は全国平均を大きく下回る水準で、低調に推移しました。

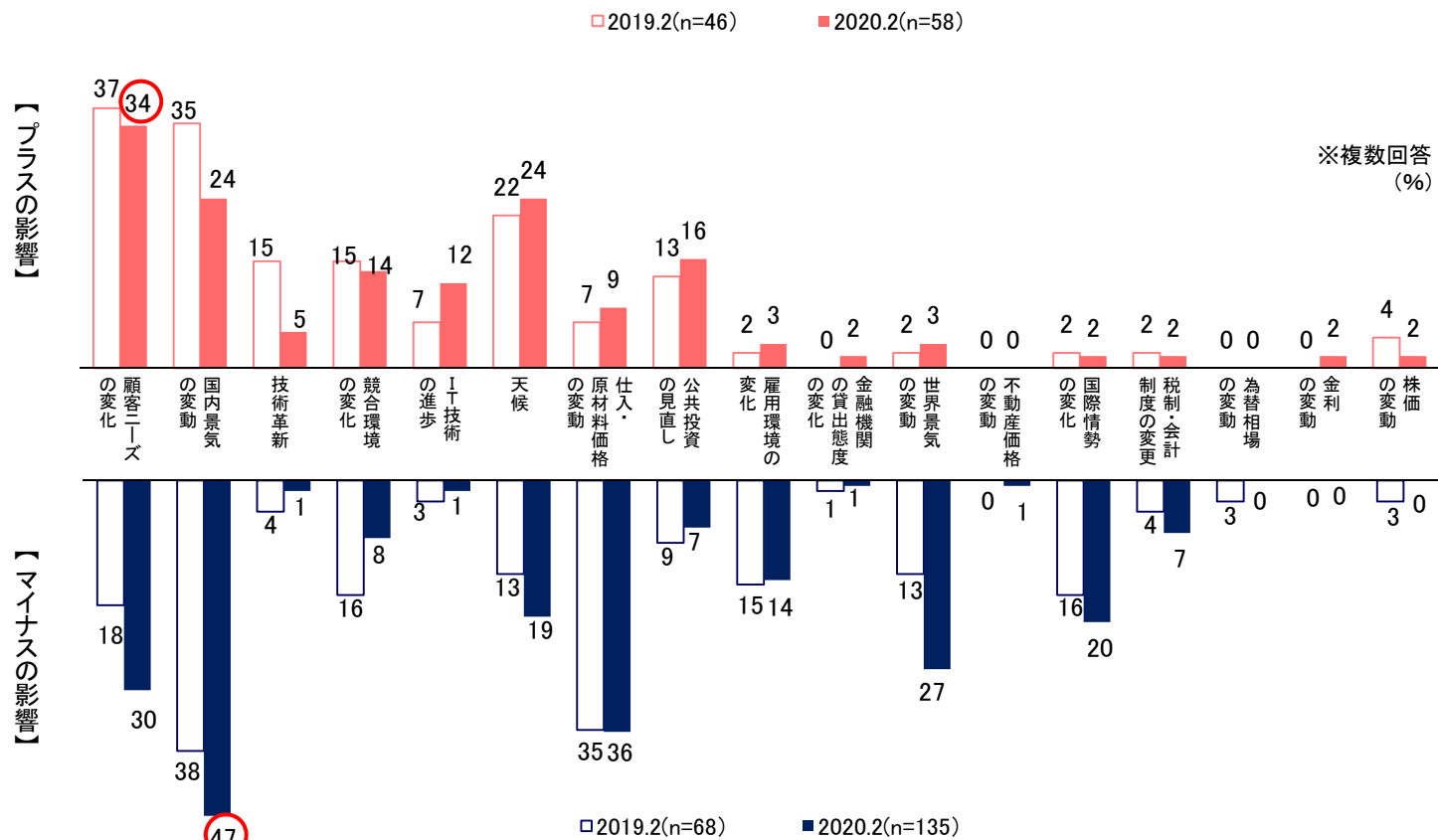
1. 大同生命サーベイ業況DI（北陸・甲信越・全国比較）

✓ 業況DIは全国平均を下回る水準で推移しました。2月は前月から大きく悪化しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（北陸・甲信越／2019年2月・2020年2月比較）

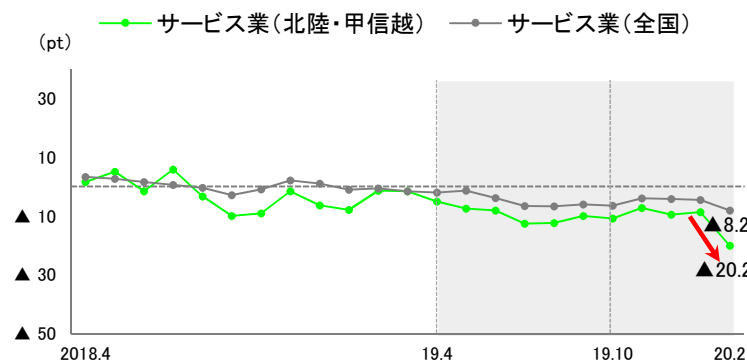
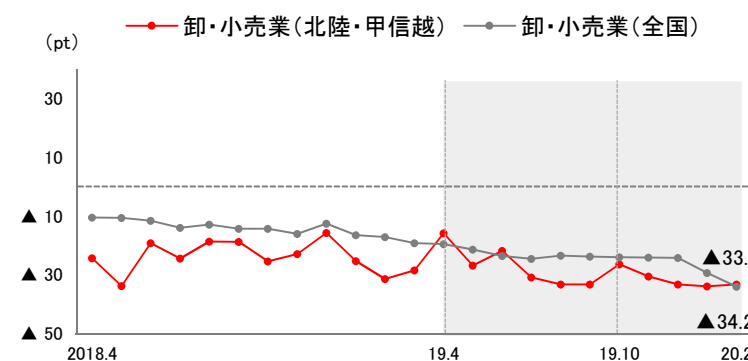
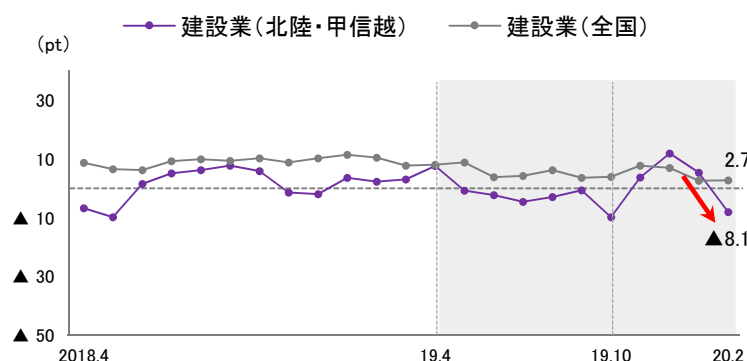
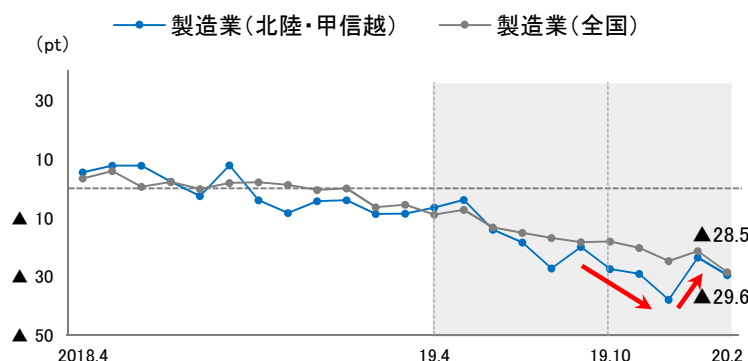
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別の状況 ⑤北陸・甲信越（新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県）

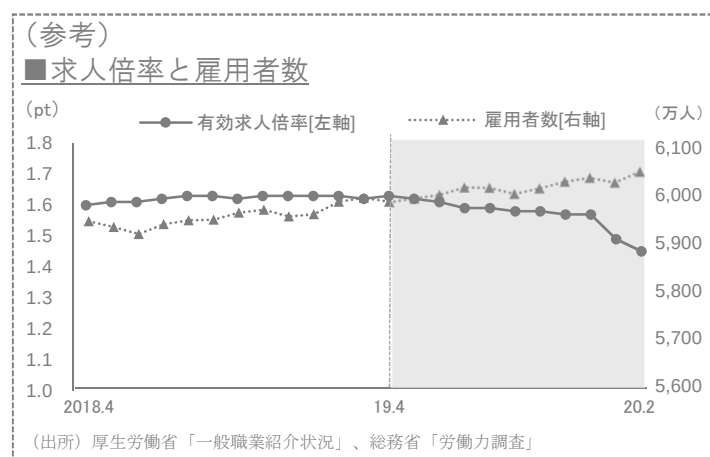
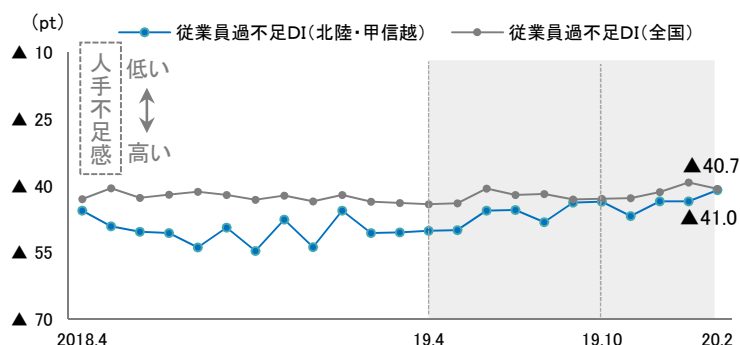
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／北陸・甲信越・全国比較）

製 造	10～12月は大幅に悪化した。1月以降は全国平均と同水準まで回復。
建 設	全国平均を概ね下回る水準で推移し、2月は大幅に悪化。
卸・小売	全国平均を概ね下回る水準で推移。
サービス	全国平均をやや下回る水準で推移し、2月に大幅に悪化。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（北陸・甲信越・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国平均を下回る水準で推移しました。人手不足感の高まりが見受けられます。

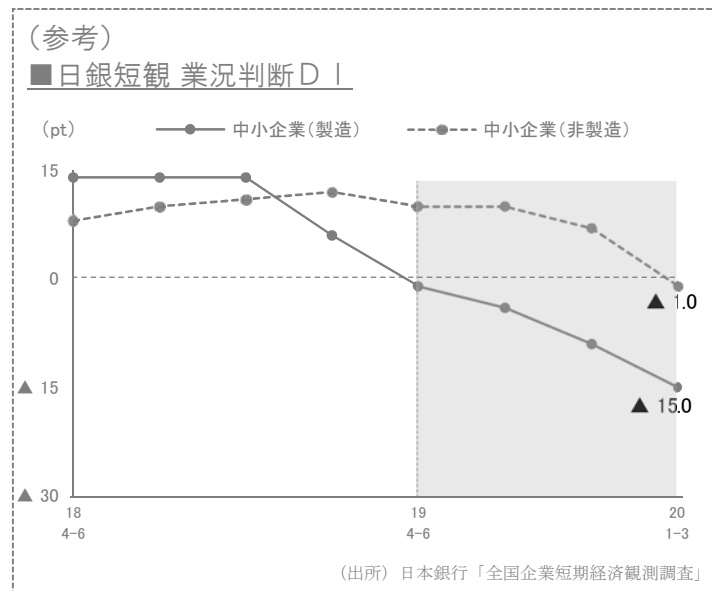
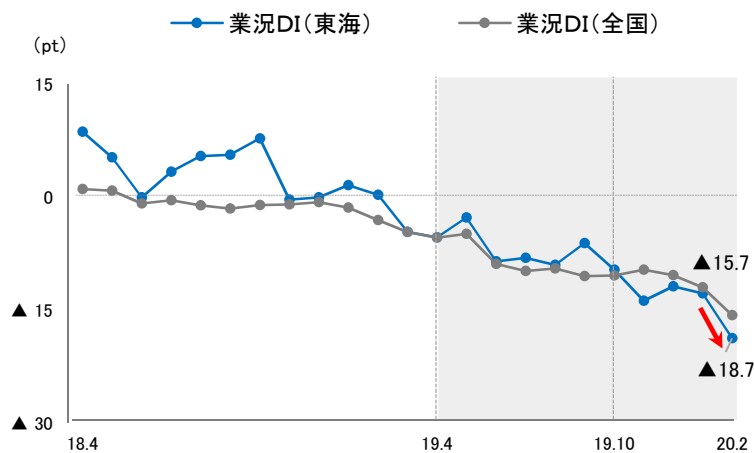


II 地域別の状況 ⑥東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

2019年度の東海経済は、米中貿易摩擦や中国経済の減速により牽引役であった製造業が打撃を受け、地域全体の景況感は、全国平均と概ね同水準で推移しました。

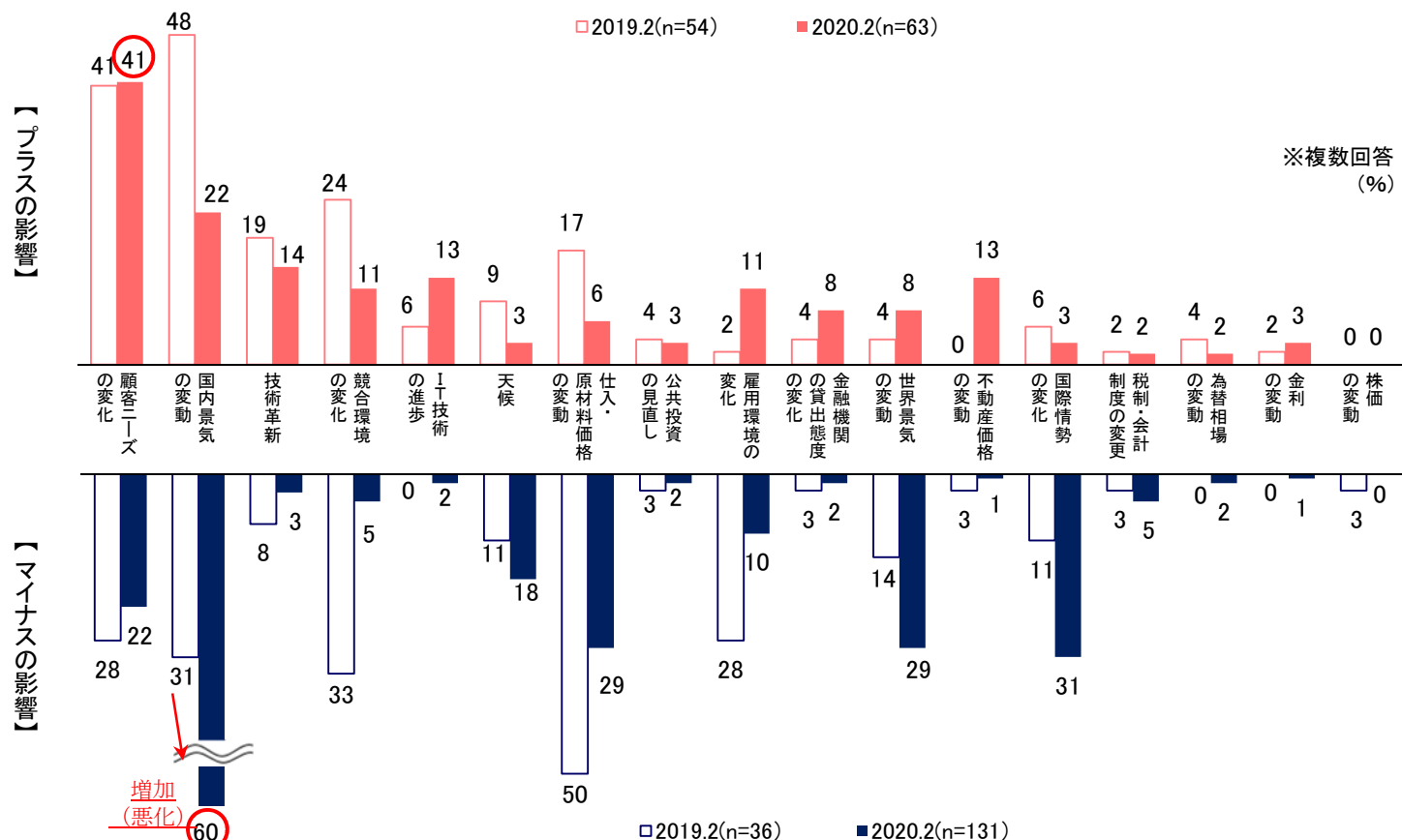
1. 大同生命サーベイ業況DI（東海・全国比較）

✓業況DIは全国平均と概ね同水準で推移しました。2月は前月から大きく悪化しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（東海／2019年2月・2020年2月比較）

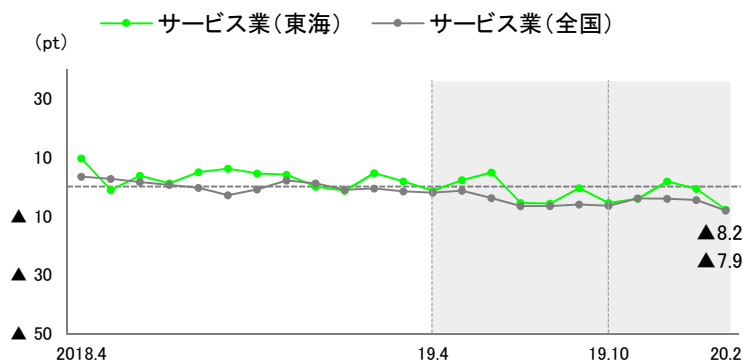
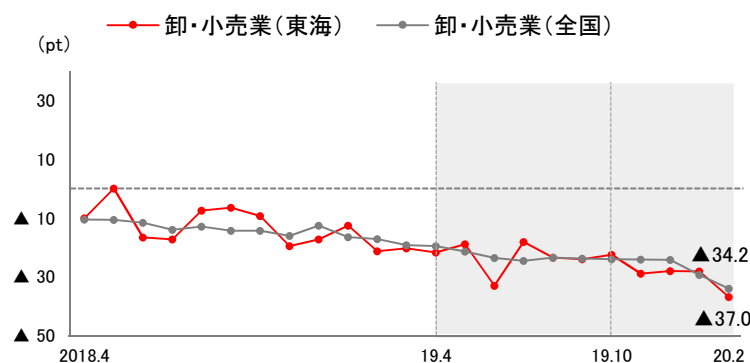
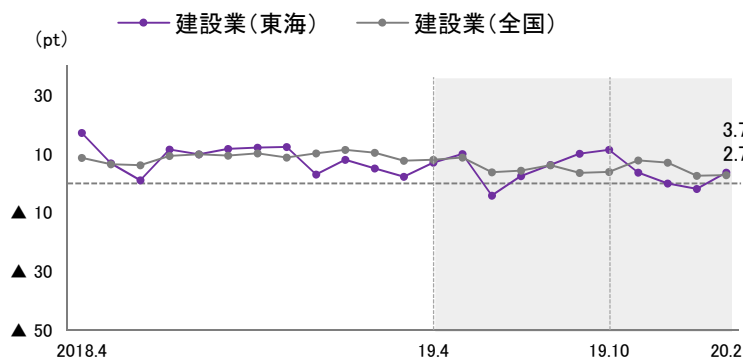
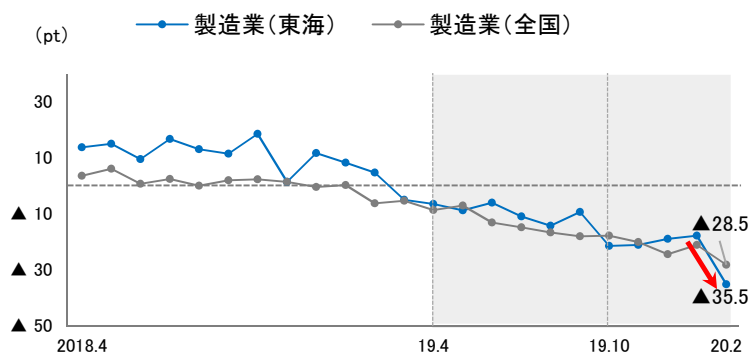
✓景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。特にマイナスの影響では「国内景気の変動(悪化)」が前年に比べ29pt悪化しました。



II 地域別の状況 ⑥東海（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）

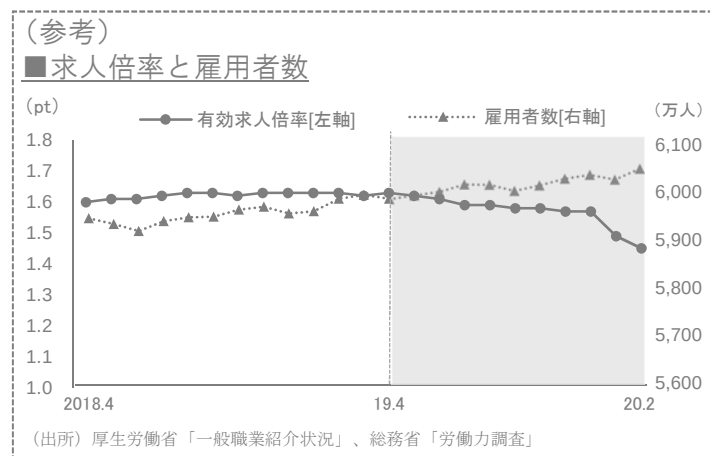
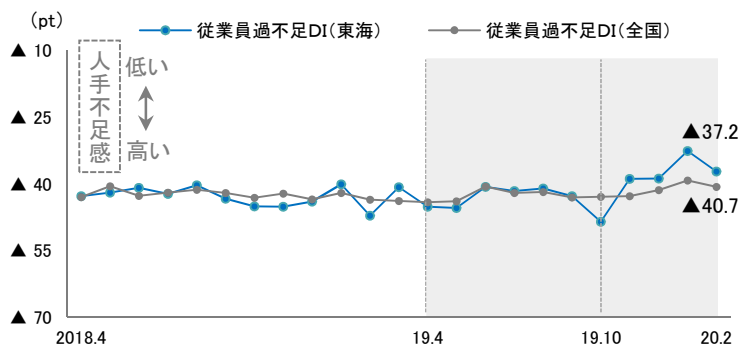
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／東海・全国比較）

製 造	全国平均と概ね同水準で推移し、2月に大幅に悪化。
建 設	プラス圏内で全国平均と概ね同水準で推移。
卸・小売	全国平均と概ね同水準で推移。
サービス	全国平均をやや上回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（東海・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは上半期は全国平均と同水準、下半期は全国平均を上回る水準で推移しました。

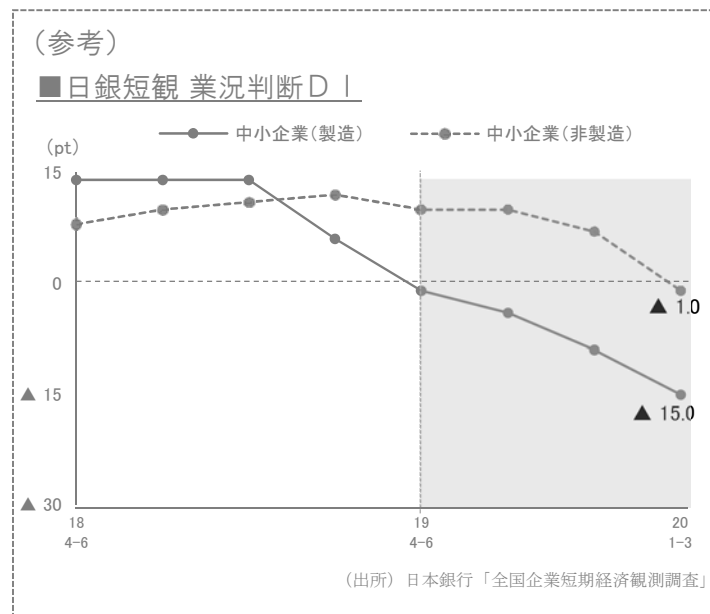
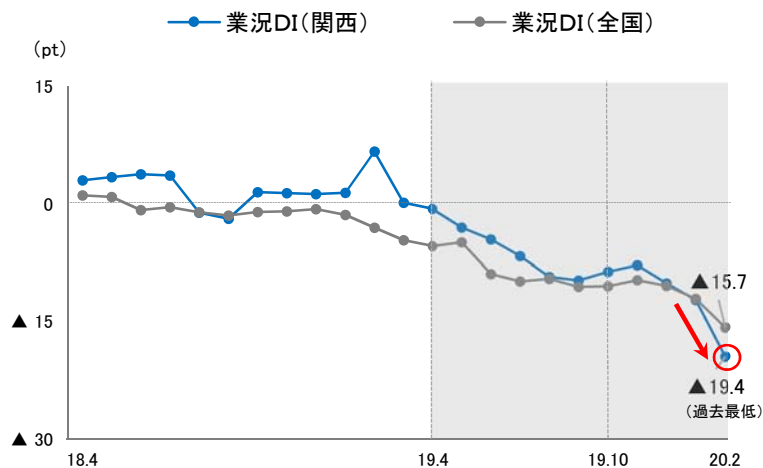


Ⅱ 地域別の状況 ⑦関西（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

2019年度の関西経済は、大阪・関西万博開催に向けた観光需要などに伴う建設業の牽引により、地域全体の景況感
は全国平均を上回る水準で推移したものの、2月は新型コロナウイルスの影響により、減速感が見られました。

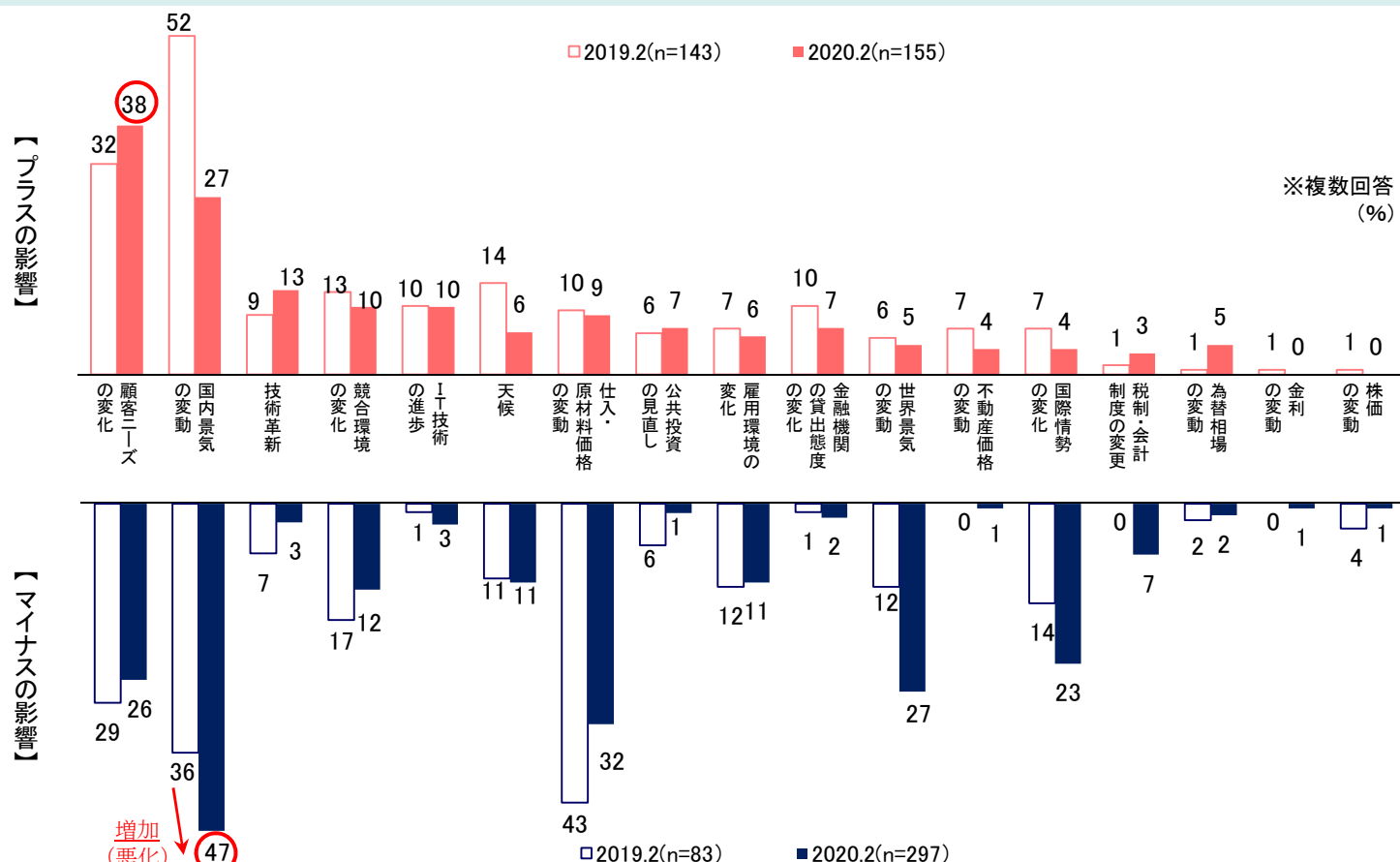
1. 大同生命サーベイ業況DI（関西・全国比較）

✓業況DIは全国平均をやや上回る水準で推移しました。2月は大幅に悪化しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（関西／2019年2月・2020年2月比較）

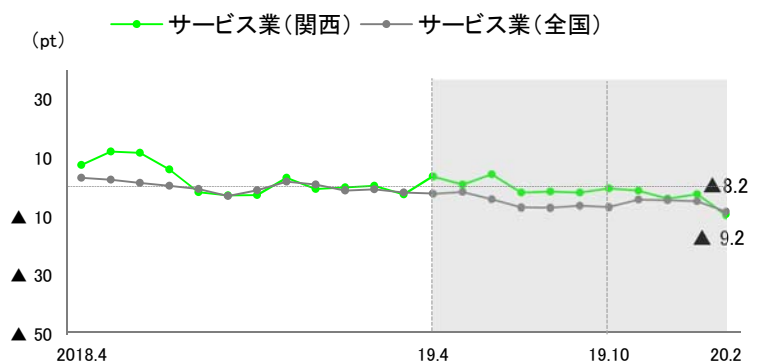
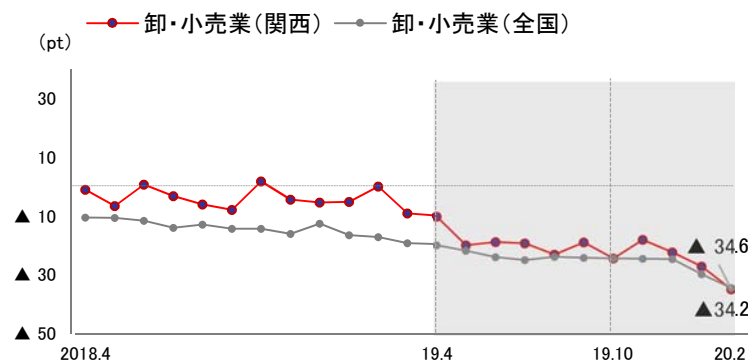
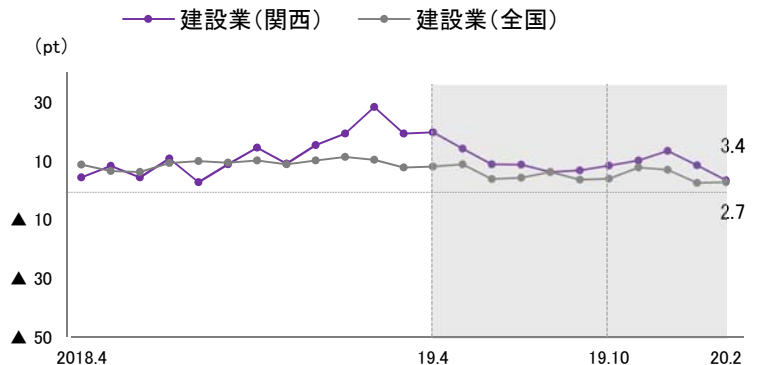
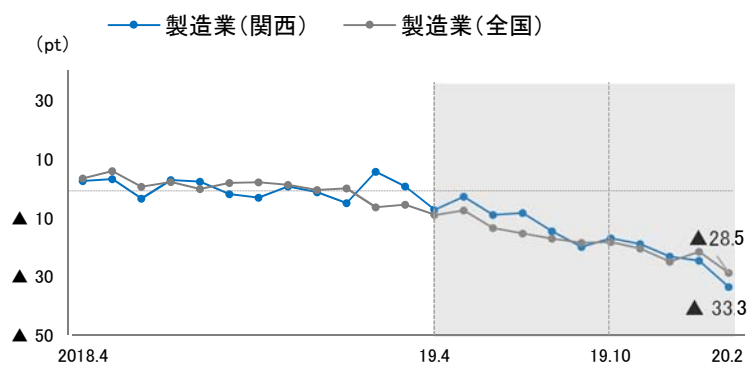
✓景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。特にマイナスの影響では「国内景気の変動(悪化)」が前年に比べ11pt悪化しました。



Ⅱ 地域別の状況 ⑦関西（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）

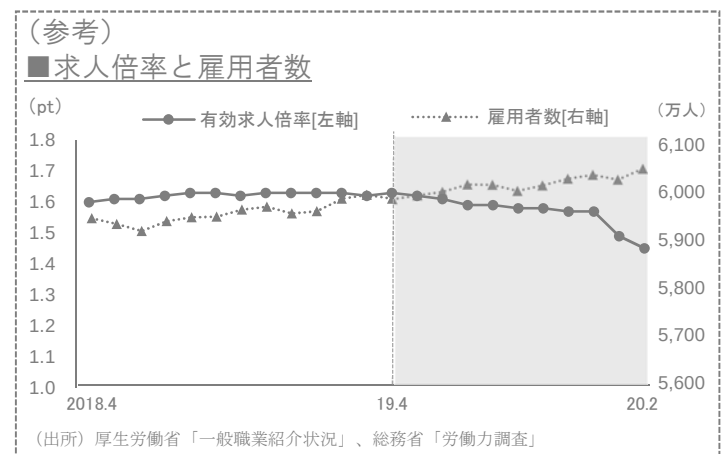
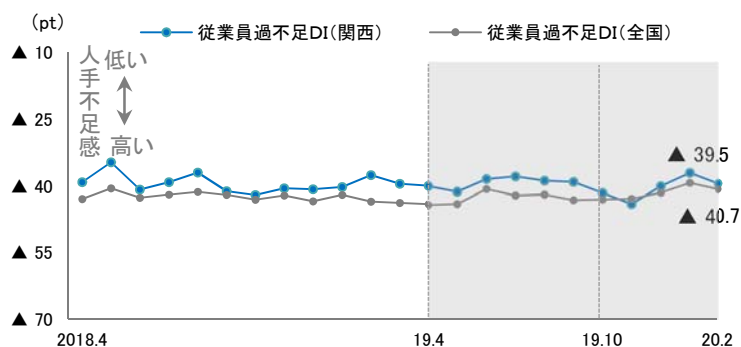
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／関西・全国比較）

製 造	全国平均と概ね同水準で推移。
建 設	年間を通じて、プラス圏内にて全国平均を上回る水準で推移。
卸・小売	全国平均をやや上回る水準で推移。
サービス	全国平均をやや上回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（関西・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国平均をやや上回る水準で推移しました。

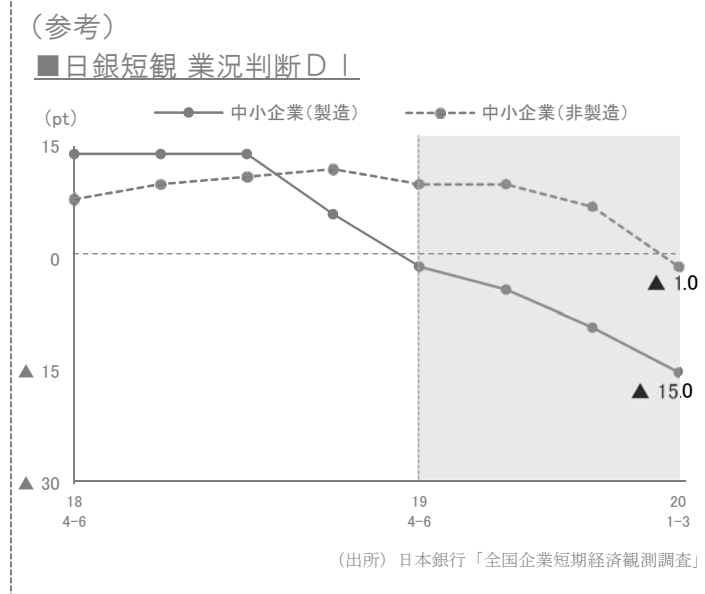
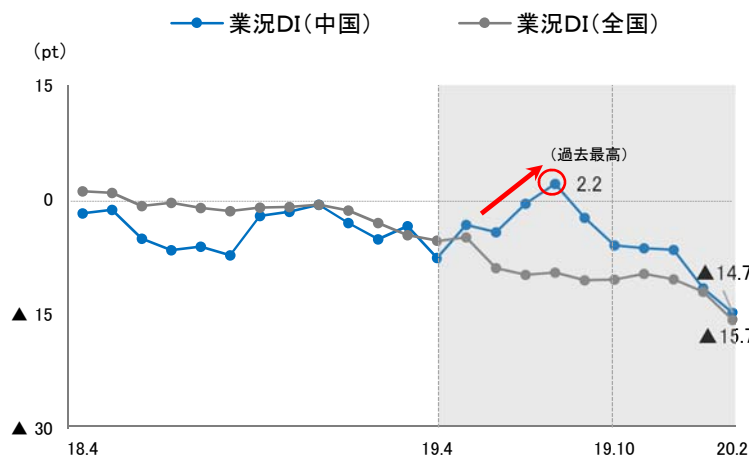


II 地域別の状況 ⑧中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

2019年度の中国（地区）経済は、上半期に消費増税前の駆け込みと思われる需要増により、「製造業」「卸・小売業」「サービス業」が一時的に大きく好転しましたが、下半期は全国平均と同水準まで減速しました。

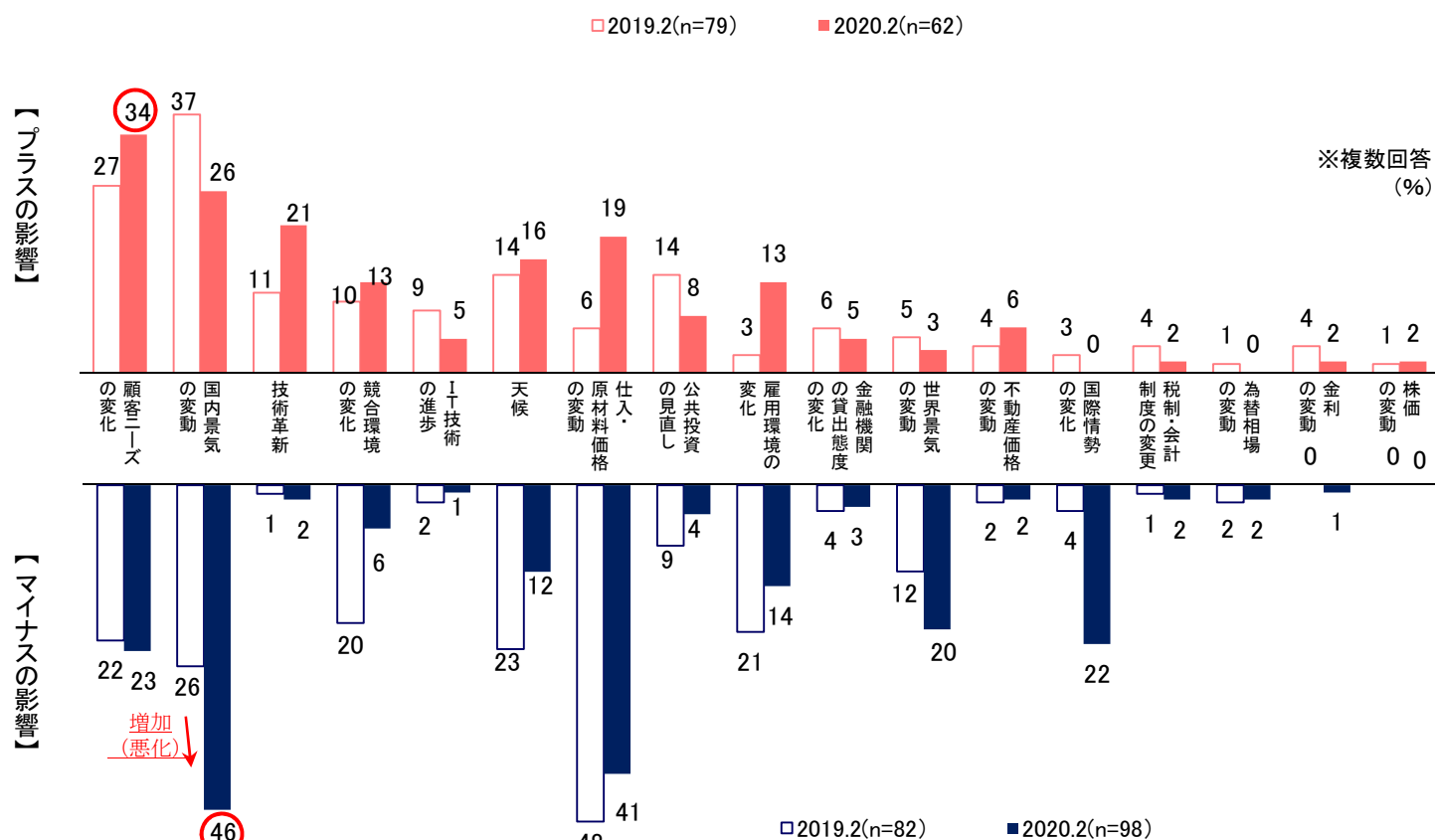
1. 大同生命サーベイ業況DI（中国・全国比較）

- ✓ 業況DIは、全国平均を概ね上回る水準で推移。8月に調査開始(2015.10)以降の最高値を記録したものの、1月以降は全国平均と同水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（中国／2019年2月・2020年2月比較）

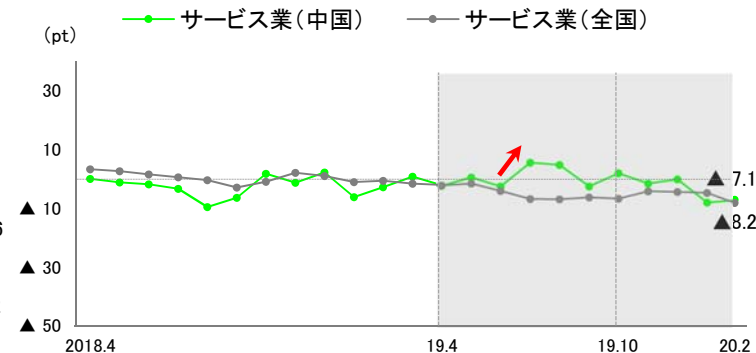
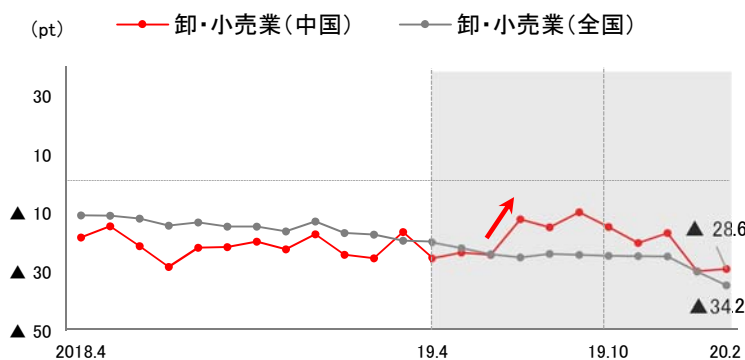
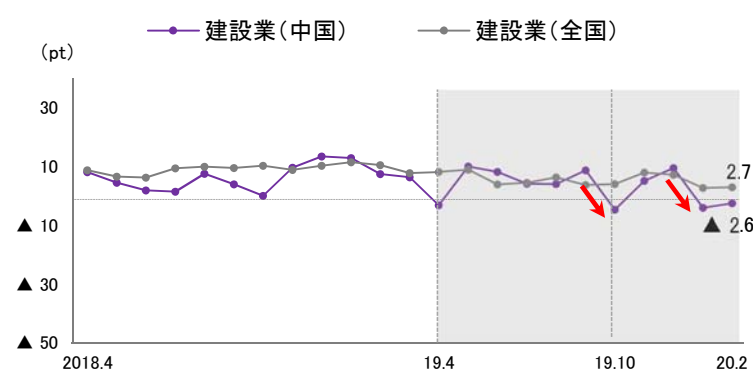
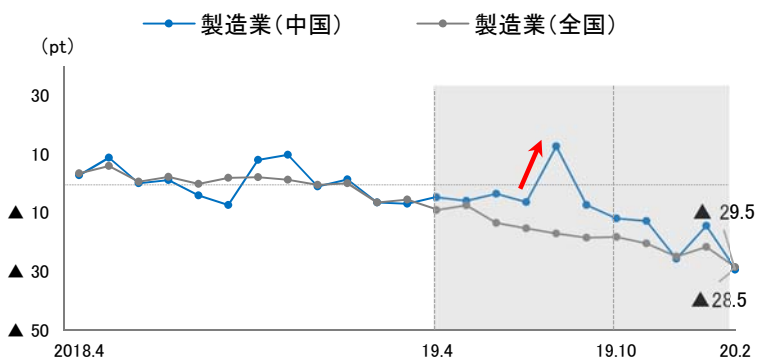
- ✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。特にマイナスの影響では「国内景気の変動(悪化)」が前年に比べ20pt悪化しました。



Ⅱ 地域別の状況 ⑧中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）

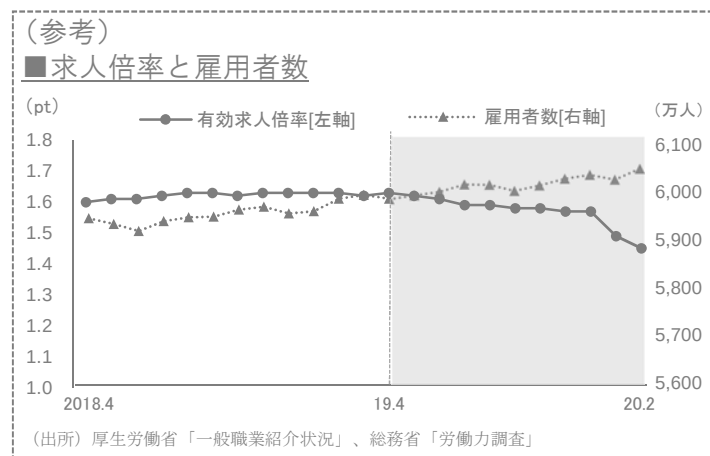
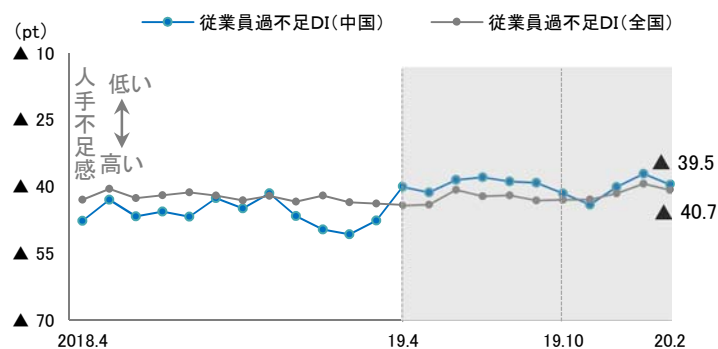
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／中国・全国比較）

製 造	8月はプラス圏内に大きく好転し、全国平均を概ね上回る水準で推移。
建 設	10月と1月に大幅に悪化したものの、概ね全国平均と同水準で推移。
卸・小売	7～9月に大きく好転し、全国平均を概ね上回る水準で推移。
サービス	概ねプラス圏内で、7～8月に好転し、全国平均を上回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（中国・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは全国平均をやや上回る水準で推移しました。

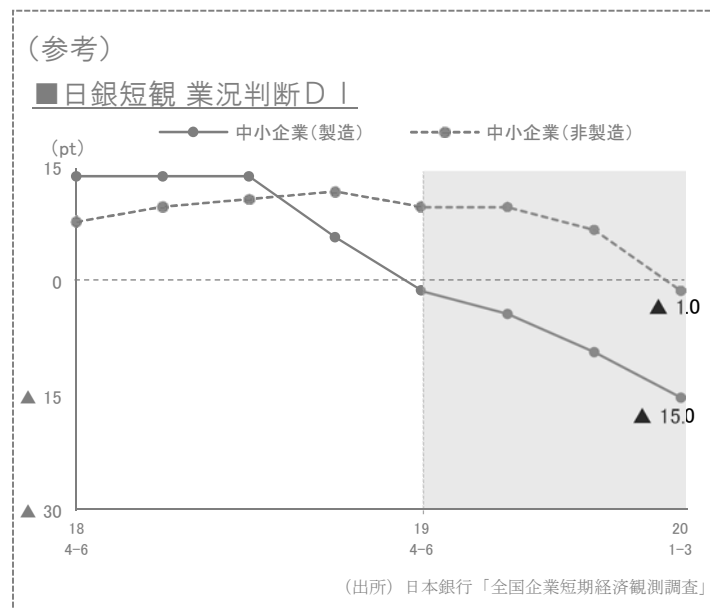
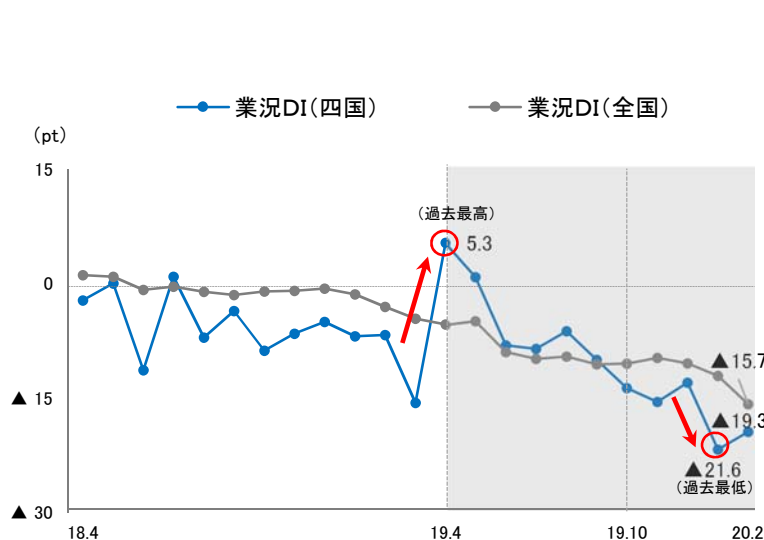


II 地域別の状況 ⑨四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

2019年度の四国経済は、4～5月の大型連休の影響（需要増）により、上半期の地域全体の景況感は、全国平均を上回る水準で推移しましたが、下半期は全国平均を下回る水準で推移しました。

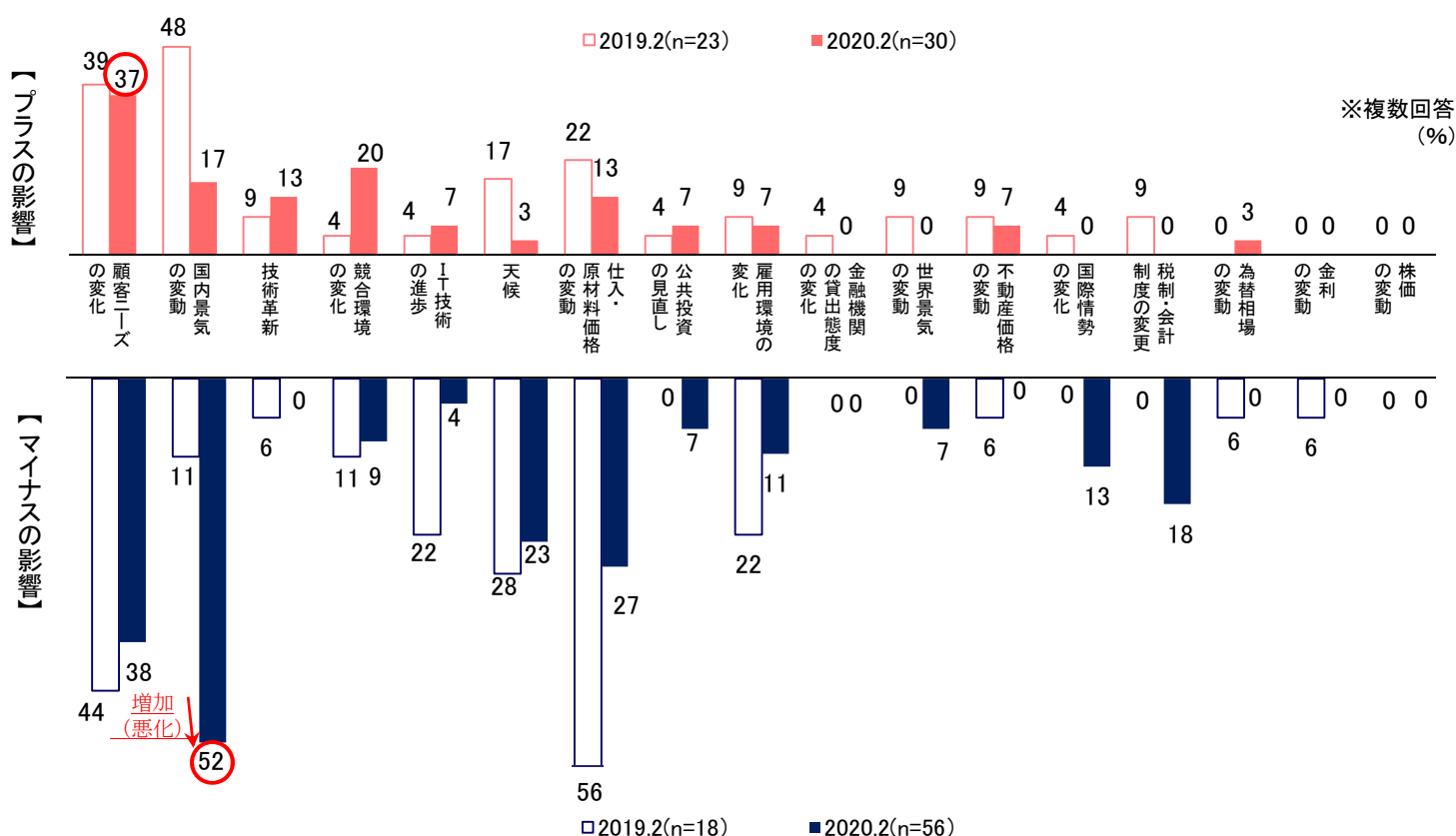
1. 大同生命サーベイ業況DI（四国・全国比較）

✓ 業況DIは、上半期は全国平均を上回りましたが、下半期は全国平均を下回る水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因（四国／2019年2月・2020年2月比較）

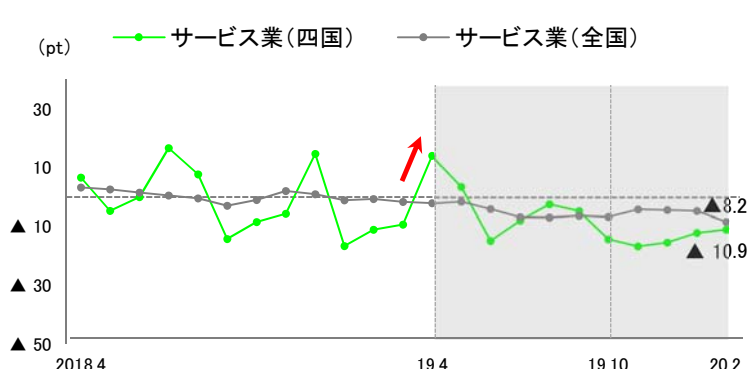
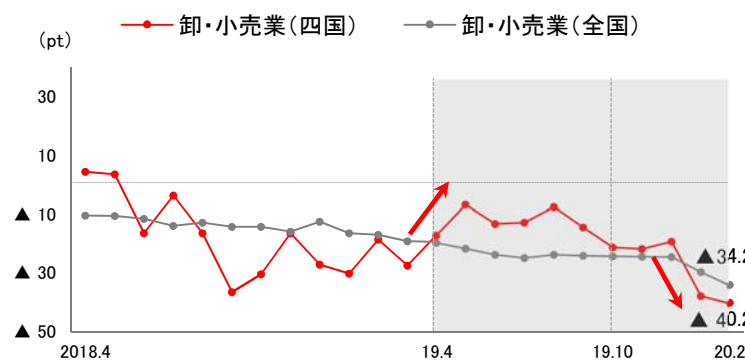
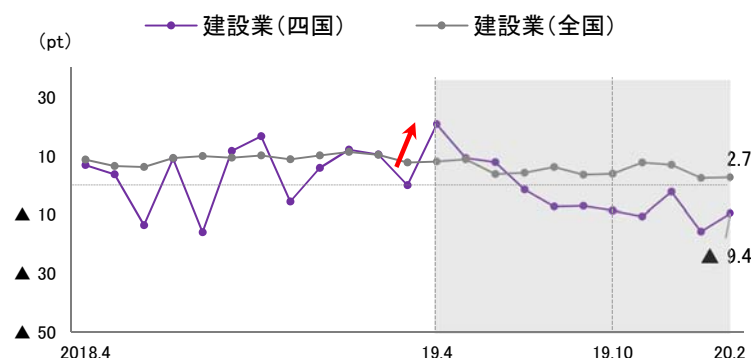
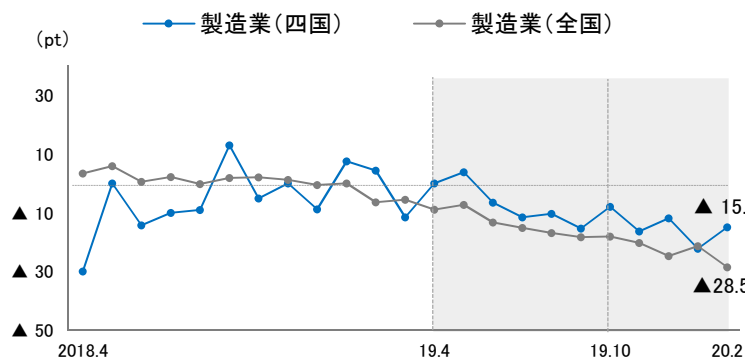
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「国内景気の変動(悪化)」が最も多くなりました。特にマイナスの影響では「国内景気の変動(悪化)」が前年に比べ41pt悪化しました。



Ⅱ 地域別の状況 ⑨四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

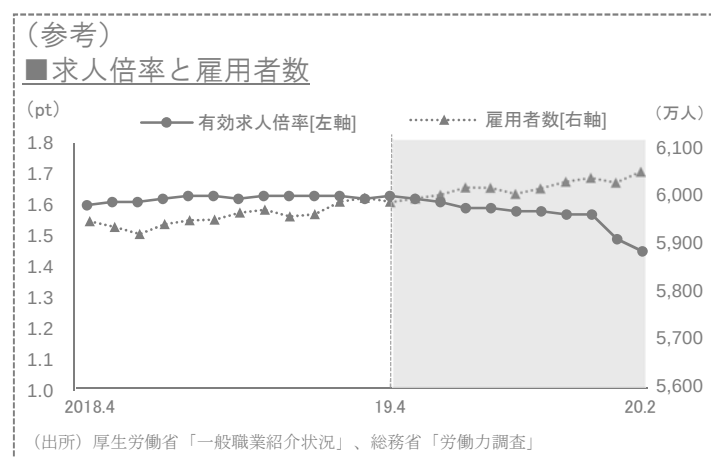
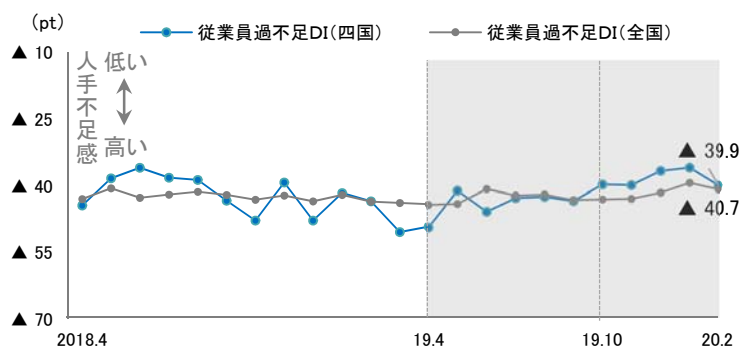
3. 大同生命サーベイ業況DI（業種別／四国・全国比較）

製 造	年間を通じて、全国平均を上回る水準で推移。
建 設	4～6月はプラス圏内で推移したが、以降は悪化し、全国平均を下回る水準で推移。
卸・小売	上半期は全国平均を大きく上回る水準で推移したものの、1月以降に大幅に悪化。
サービス	4～5月はプラス圏内で推移したが、以降は悪化し、全国平均を概ね下回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI（四国・全国比較）

✓ 従業員過不足DIは、上半期は概ね全国平均と同水準で推移しましたが、下半期は全国平均をやや上回りました。

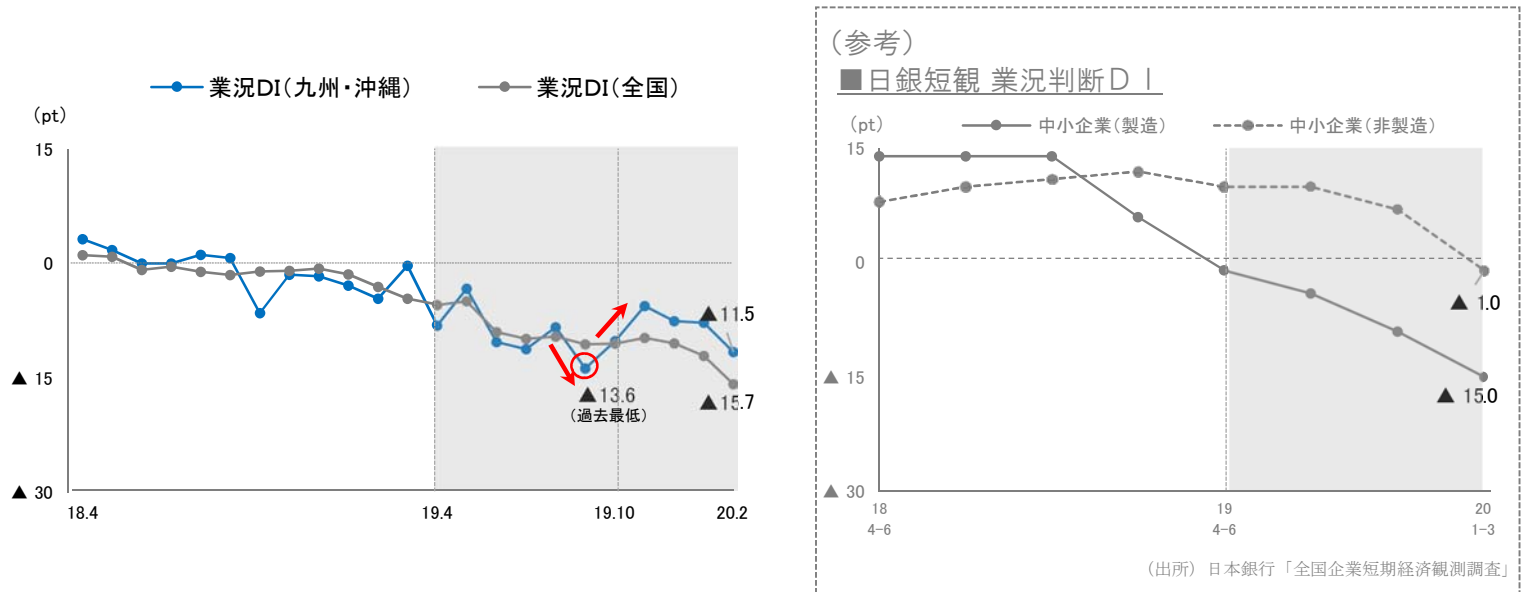


II 地域別の状況 ⑩九州・沖縄 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

2019年度の九州・沖縄経済は、8月末の九州北部豪雨の影響による9月の一時的な落ち込み以外は堅調に推移し、特に下半期の地域全体の景況感は、全国平均を大きく上回る水準で推移しました。

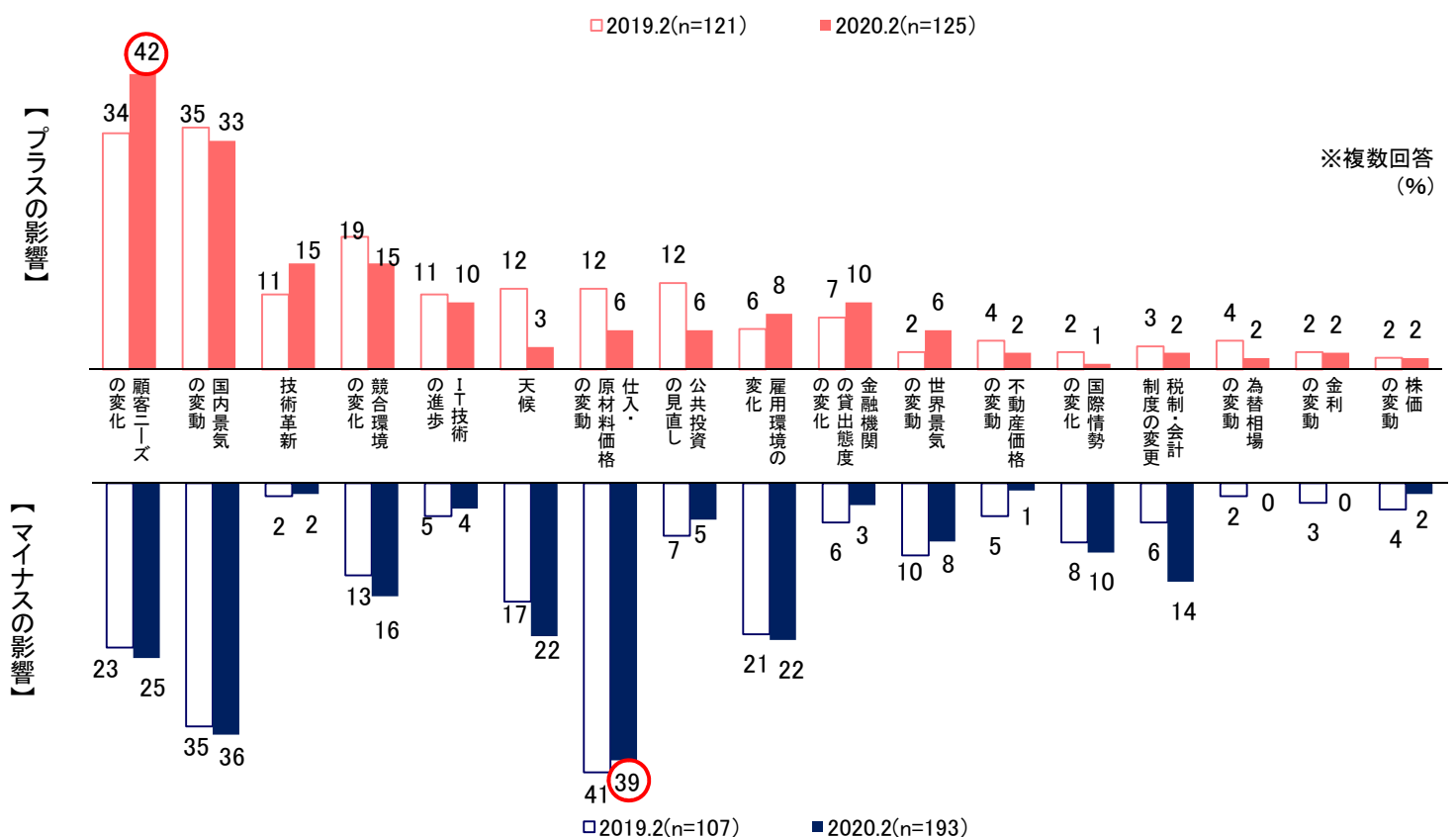
1. 大同生命サーベイ業況DI (九州・沖縄・全国比較)

✓ 業況DIは、上半期は全国平均と概ね同水準で推移し、下半期は全国平均を大きく上回る水準で推移しました。



2. 景況感に影響を与えた要因 (九州・沖縄/2019年2月・2020年2月比較)

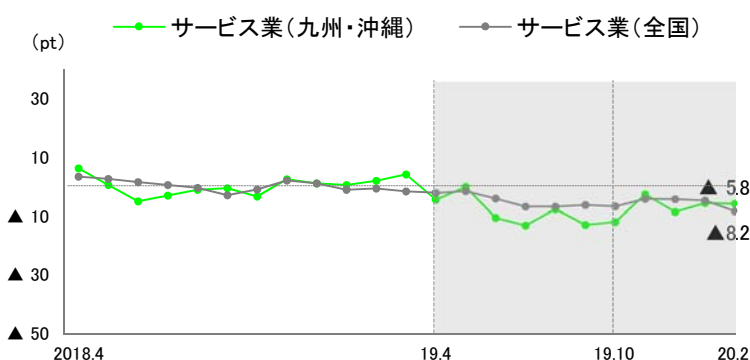
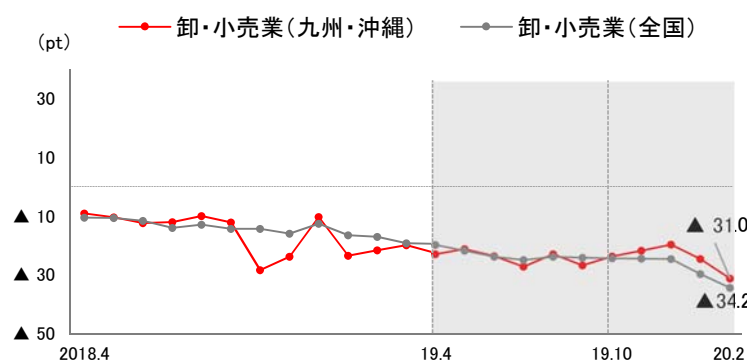
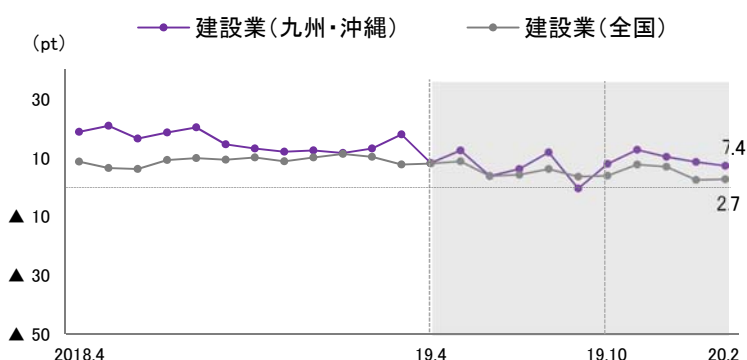
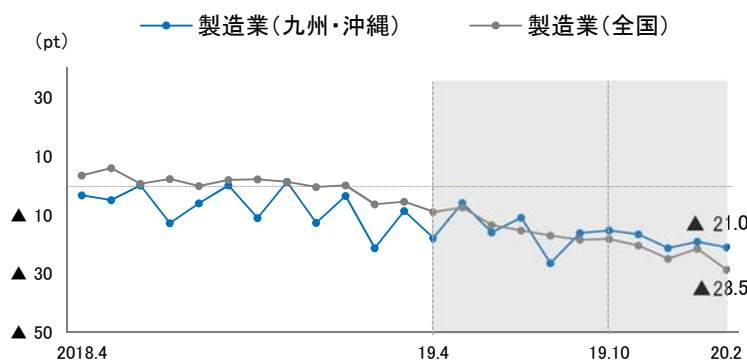
✓ 景況感に影響を与えた要因では、プラスの影響は「顧客ニーズの変化」が、マイナスの影響は「仕入・原材料価格の変動(上昇)」が最も多くなりました。



Ⅱ 地域別の状況 ⑩九州・沖縄 (福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)

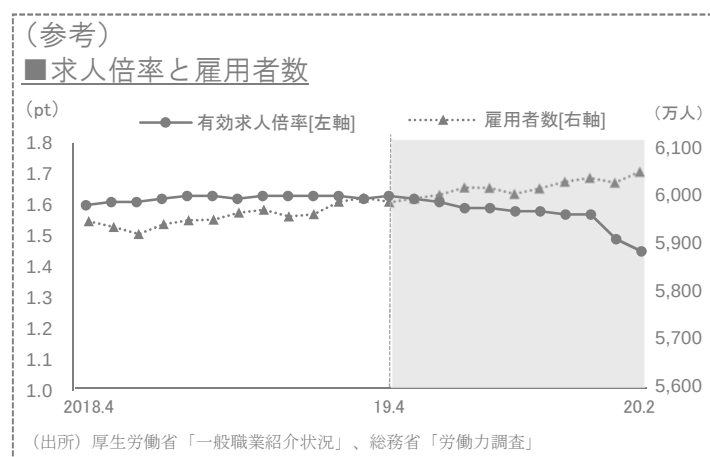
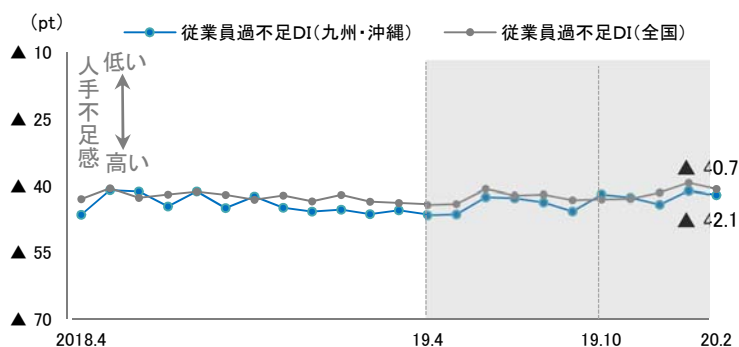
3. 大同生命サーベイ業況DI (業種別／九州・沖縄・全国比較)

製 造	8月の落ち込みを除き、全国平均をやや上回る水準で推移。
建 設	全国平均をやや上回る水準で推移。
卸・小売	下半期は全国平均をやや上回る水準で推移。
サービス	全国平均をやや下回る水準で推移。



4. 大同生命サーベイ従業員過不足DI (九州・沖縄・全国比較)

✓ 従業員過不足DIは、全国平均と概ね同水準で推移しました。



(参考) 回答企業の属性

(回答企業数)	4月	5	6	7	8	9
回答数	7,163	6,593	7,844	7,638	5,795	6,624

(従業員規模)	4月	5	6	7	8	9
5人以下	3,054	2,689	3,540	3,393	2,547	2,959
6～10人	1,431	1,314	1,539	1,518	1,121	1,250
11～20人	1,137	1,097	1,228	1,164	916	966
21人以上	1,432	1,384	1,455	1,478	1,124	1,371
無回答	109	109	82	85	87	78

(業種)	4月	5	6	7	8	9
製造業	1,443	1,364	1,533	1,419	1,085	1,262
建設業	1,627	1,517	1,733	1,805	1,340	1,457
卸・小売業	1,612	1,384	1,762	1,702	1,290	1,476
サービス業	2,130	1,982	2,438	2,339	1,784	2,121
その他	241	245	281	282	212	223
無回答	110	101	97	91	84	85

(地域)	4月	5	6	7	8	9
北海道	222	231	367	330	176	215
東北	522	421	608	679	510	496
北関東※	488	571	647	619	459	448
南関東※	1,194	1,149	1,420	1,440	1,007	1,184
北陸・甲信越	631	604	755	670	538	613
東海	1,107	848	805	705	593	643
関西※	1,211	1,115	1,352	1,343	1,018	1,235
中国	602	555	534	464	393	512
四国	205	235	299	288	181	181
九州・沖縄	981	864	1,057	1,100	920	1,097

※(北関東)茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 (南関東)千葉県、東京都、神奈川県 (関西)滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(創業年数)	4月	5	6	7	8	9
10年未満	770	708	906	896	659	738
10～30年未満	1,804	1,691	1,935	1,940	1,454	1,697
30～50年未満	2,185	2,019	2,451	2,350	1,754	2,009
50～100年未満	1,939	1,748	2,108	2,035	1,583	1,784
100年以上	242	228	282	251	176	232
無回答	223	199	162	166	169	164

(経営者年齢)	4月	5	6	7	8	9
40歳未満	374	363	405	421	305	348
40歳代	1,585	1,436	1,718	1,666	1,221	1,442
50歳代	1,969	1,843	2,109	2,120	1,627	1,796
60歳代	1,936	1,789	2,135	2,023	1,598	1,824
70歳以上	1,177	1,038	1,366	1,295	934	1,110
無回答	122	124	111	113	110	104

(性別)	4月	5	6	7	8	9
男性	6,594	6,094	7,225	7,063	5,332	6,093
女性	482	415	546	493	387	451
無回答	87	84	73	82	76	80

(参考) 回答企業の属性

(回答企業数)	10月	11	12	1	2
回答数	7,438	7,037	7,311	6,307	6,927

(従業員規模)	10月	11	12	1	2
5人以下	3,406	3,032	3,385	2,895	3,112
6～10人	1,446	1,420	1,425	1,220	1,378
11～20人	1,107	1,089	1,050	913	1,027
21人以上	1,392	1,408	1,343	1,192	1,315
無回答	87	88	108	87	95

(業種)	10月	11	12	1	2
製造業	1,382	1,381	1,304	1,163	1,232
建設業	1,681	1,567	1,620	1,355	1,544
卸・小売業	1,667	1,538	1,659	1,410	1,583
サービス業	2,377	2,238	2,362	2,067	2,222
その他	244	218	269	236	258
無回答	87	95	97	76	88

(地域)	10月	11	12	1	2
北海道	236	253	221	225	221
東北	487	494	456	410	435
北関東※	594	600	592	500	565
南関東※	1,424	1,355	1,540	1,186	1,463
北陸・甲信越	576	565	559	517	524
東海	628	603	608	519	548
関西※	1,486	1,400	1,482	1,239	1,278
中国	534	494	544	510	479
四国	281	285	276	277	325
九州・沖縄	1,192	988	1,033	924	1,089

※(北関東) 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県 (南関東) 千葉県、東京都、神奈川県 (関西) 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

(創業年数)	10月	11	12	1	2
10年未満	934	824	922	841	848
10～30年未満	1,864	1,764	1,825	1,554	1,732
30～50年未満	2,272	2,164	2,180	1,895	2,087
50～100年未満	1,945	1,913	1,978	1,673	1,894
100年以上	268	224	237	196	217
無回答	155	148	169	148	149

(経営者年齢)	10月	11	12	1	2
40歳未満	449	393	370	365	402
40歳代	1,608	1,520	1,545	1,358	1,480
50歳代	2,051	1,968	2,030	1,726	1,869
60歳代	1,921	1,861	1,964	1,703	1,826
70歳以上	1,300	1,200	1,283	1,055	1,243
無回答	109	95	119	100	107

(性別)	10月	11	12	1	2
男性	6,846	6,511	6,706	5,784	6,369
女性	524	462	529	456	480
無回答	68	64	76	67	78